

地域編(地域カルテ)

【概要】

被災地内における地域格差を把握するため、施策の効果をできるだけ包括的に把握することが可能な指標を選択し、被災地全体との比較を行った。

人口・産業の主要な復興指標については、震災前と直近の状況とを、レーダーチャートにて比較した。

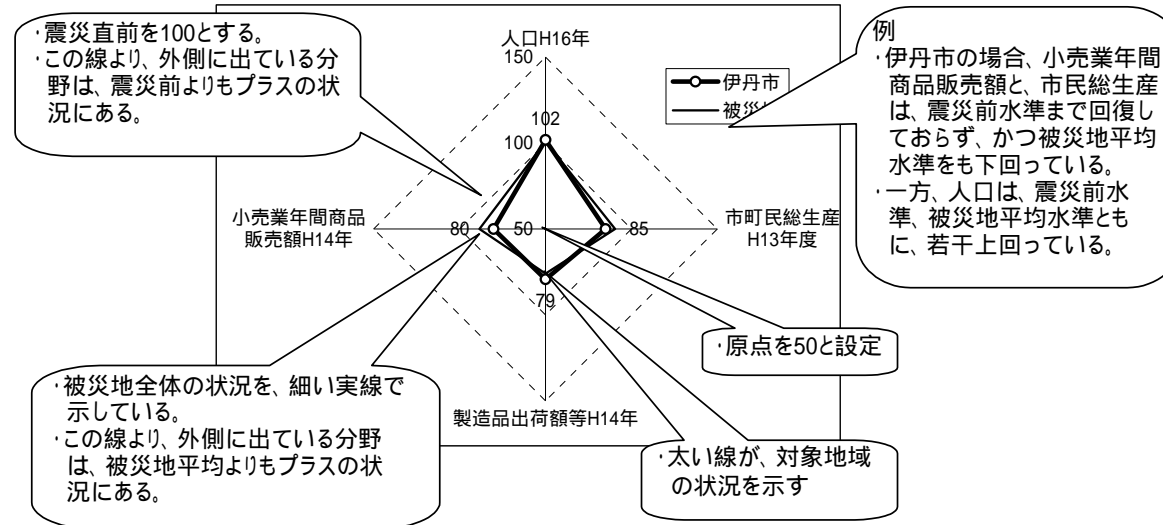
神戸市については、各区別の復興状況を把握するため、特に代表的な指標については区別に収集し、神戸市全体と各区別の動向の比較を行った。

淡路島の10町については、津名郡、三原郡の二つに分け、比較した。

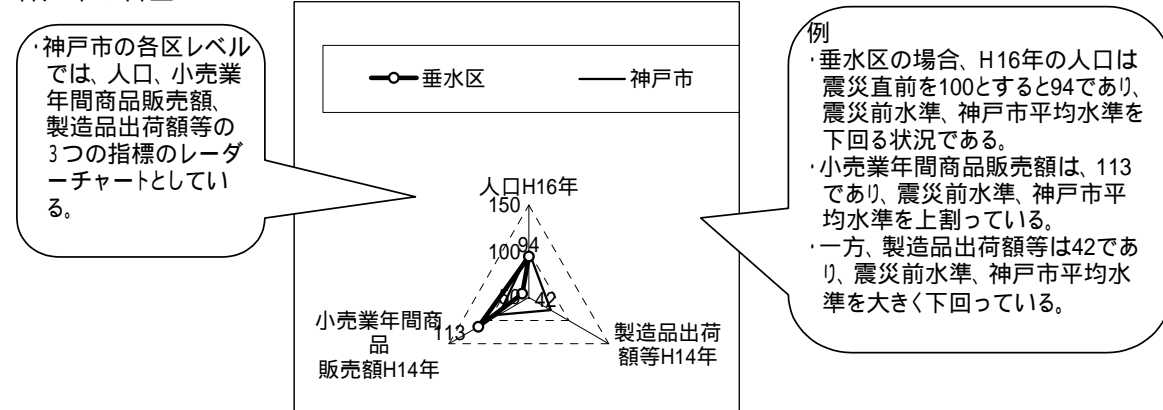
【被災地全体との人口・産業の比較レーダーチャートの見方】

当該地域と、被災地全体の復興状況を比較するため、「震災直前を100」の場合、震災直前と直近の指標をレーダーチャートに示した。(人口、市町民総生産、小売販売額、製造品出荷額の4指標が対象)

市及び郡



神戸市の各区



【資料出所一覧】

【地域の概要】

面積
・全国都道府県市区町村別面積調

人口
世帯数
・兵庫県推計人口(平成15年10月1日)

震災による死者数
全壊棟数
半壊棟数
・神戸市データ : 神戸市総合計画課調べ(神戸市ホームページより)
・神戸市以外データ : 兵庫県防災企画課・消防課調べ(兵庫県ホームページより)

【指標】

- 人口(年)
 - 兵庫県推計人口(各年10月1日、平成16年は11月1日)
 - 推計人口とは、直近の国勢調査データを基本として、住民基本台帳上及び外国人登録台帳の異動数を参考に推計を行ったもの。
 - 平成11年は、尼崎市については市発表の推計人口(10月1日)を、川西市については市発表の推計人口(9月30日)を用いている。
- 市民総生産(年度)
 - 兵庫県民経済計算
- 新設住宅着工戸数(年度)
 - 新設住宅着工統計市町別集計表
- 地域活動ステーション(年度)
 - 兵庫県生活復興支援室調べ(各年度末、平成16年度のみ6月末時点)
- 高齢者単身世帯率
 - 国勢調査
- 外国人登録者数
 - 兵庫県国際政策課調べ
- ボランティア登録団体数の推移
 - 神戸市データ : 神戸市社会福祉協議会調べ
 - 神戸市以外データ : 兵庫県社会福祉協議会調べ
- 製造品出荷額等・小売業商品販売額
 - 製造品出荷額等 : 工業統計
 - 小売業商品販売額 : 商業統計
- 自主防災組織の組織率
 - 兵庫県消防課(各年4月1日)
 - 自主防災組織の組織率 = 組織化世帯数 / 市町内全世帯数

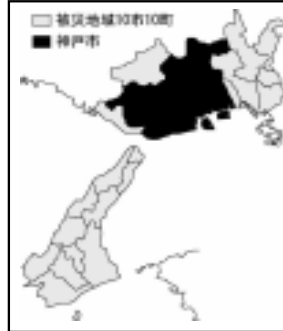
1. 神戸市

【地域の概要】

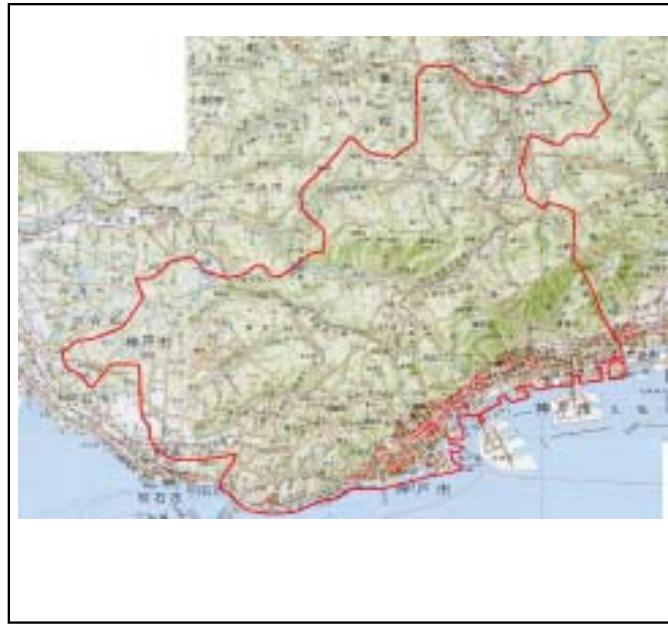
面積・人口・世帯数

面積	550.53 (km ²)
人口	1,515,864 (人)
世帯数	637,006 (世帯)
死者	4,571人
全壊棟数	74,386棟
半壊棟数	55,225棟

位置

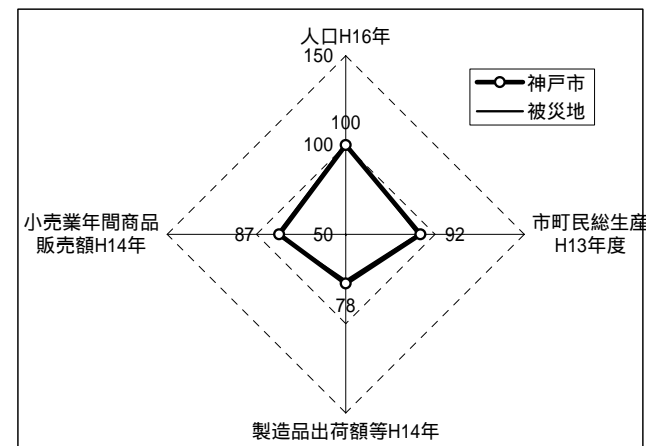


地域図



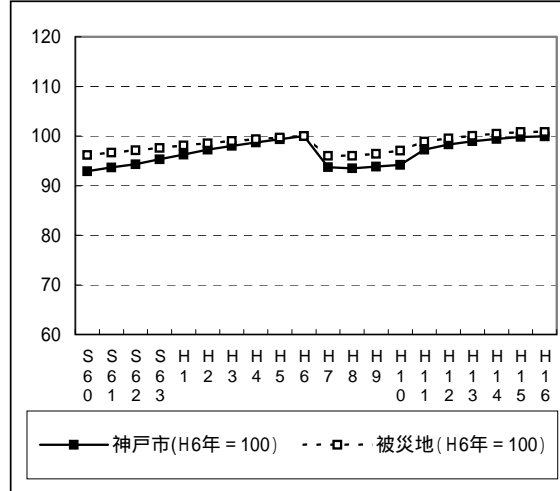
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第252号) なお、各地域により拡大・縮小の割合を変えているため、縮尺は正確ではありません。

【被災地全体との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
人口、産業とも、被災地平均とほぼ同水準である。



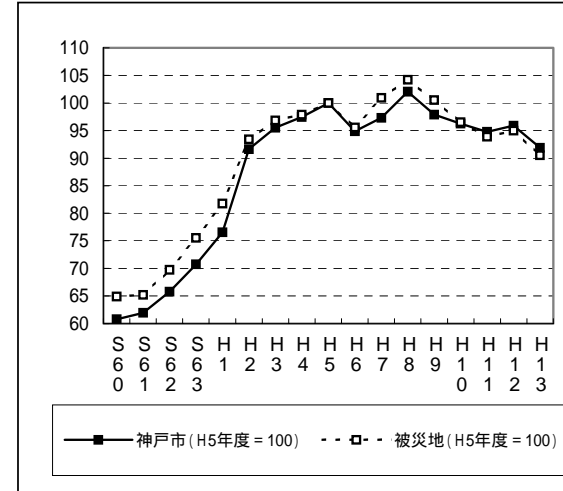
1. 人口

H16年に、ようやく震災前の水準を超える。



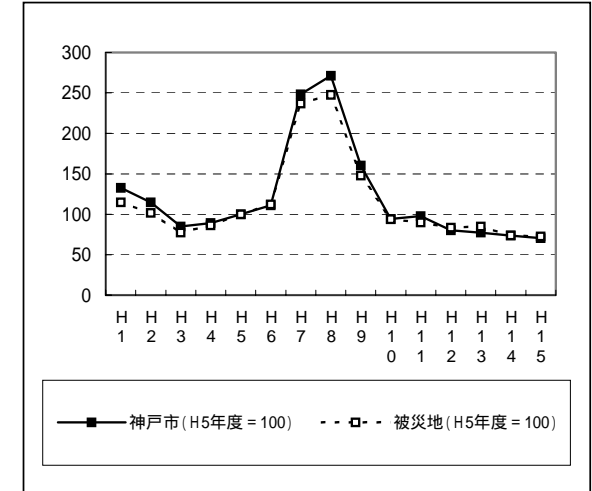
2. 市民総生産

復興需要は少なく、その後の落ち込みが激しい。



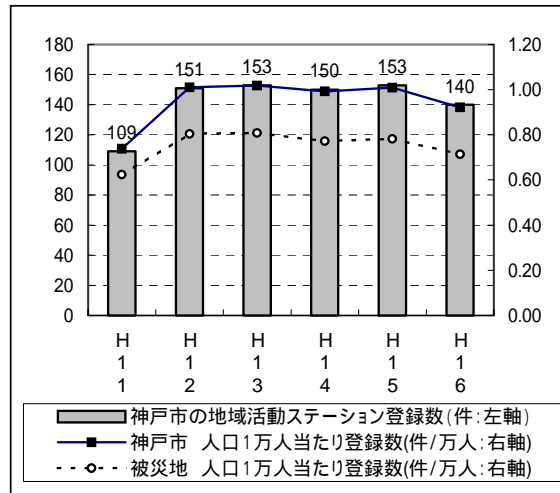
3. 新設住宅着工戸数

復興需要はH9年度まで。以降震災前水準を下回る。



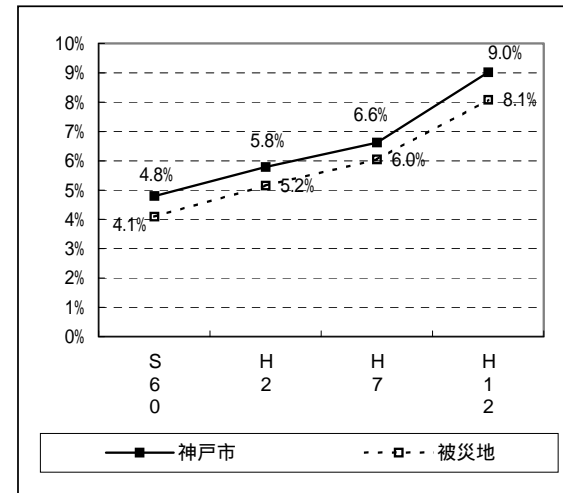
4. 地域活動ステーション

被災地平均よりも、高い水準で登録が進む。



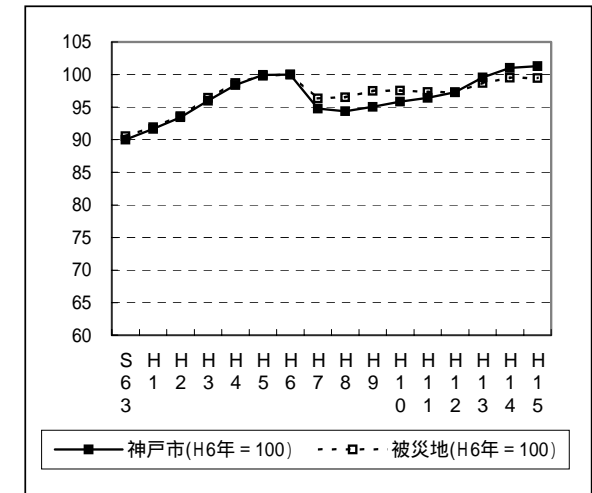
5. 単身高齢者世帯率

被災地平均よりも高く、震災後その差が広がる。



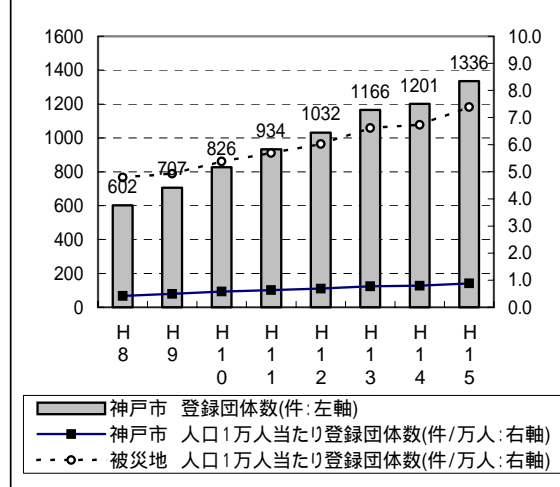
6. 外国人登録者数

震災後減少したが、H14年に震災前水準を越える。



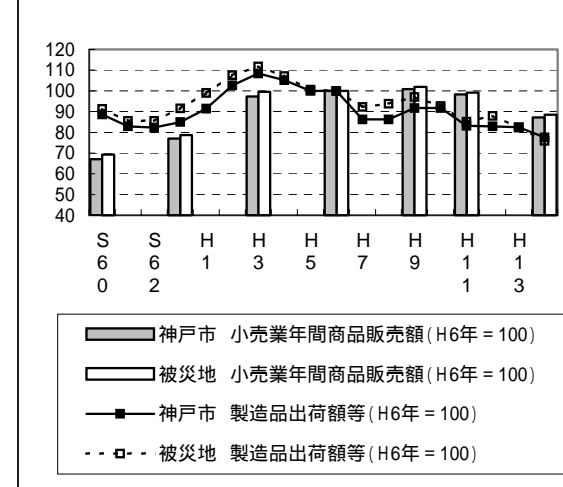
7. ボランティア登録団体数の推移

平成8年以降、登録団体数は順調に増加している。



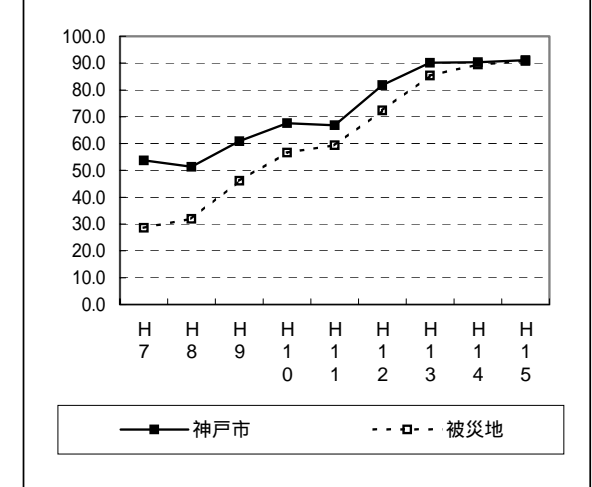
8. 製造品出荷額等・小売業商品販売額

復興需要は限定的であり、減少が続く。



9. 自主防災組織の組織率

平成13年以降は、約90%で横ばいに推移。



(1)神戸市 東灘区

(1)東灘区
【地域の概要】

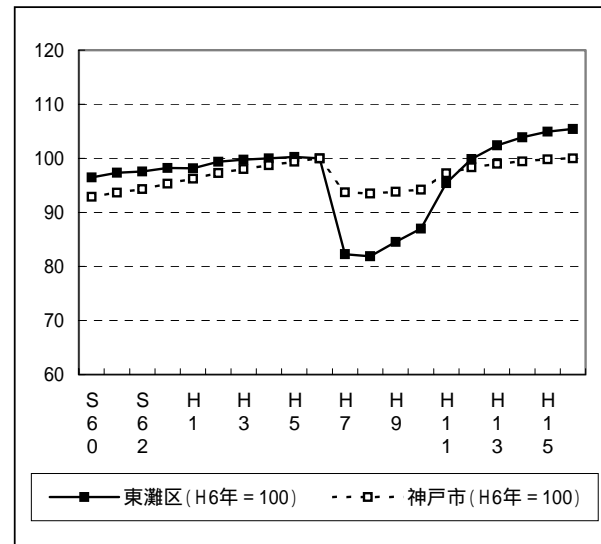
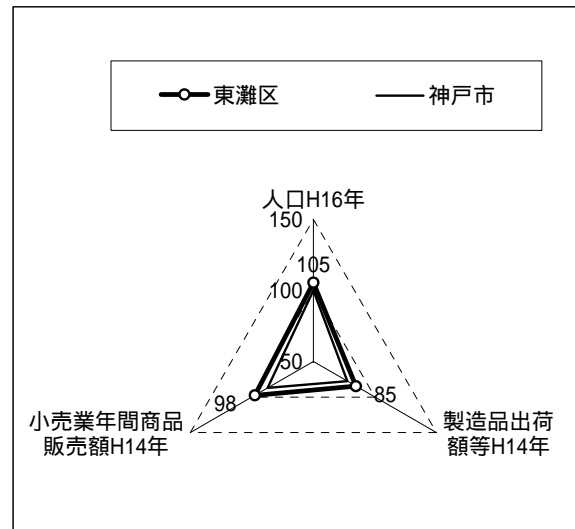
面積	30.36 km ²
人口	200,953 人
世帯数	87,162 世帯
死者数	1,471 人
全壊棟数	14,014 棟
半壊棟数	5,560 棟

【位置図】



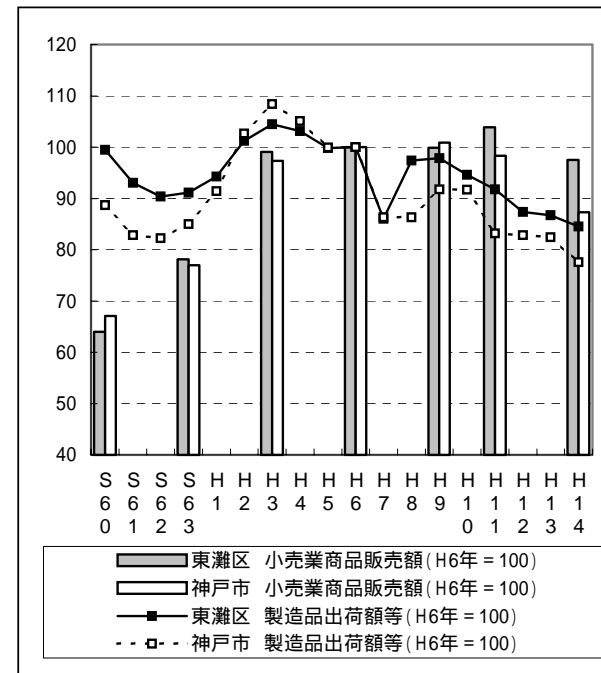
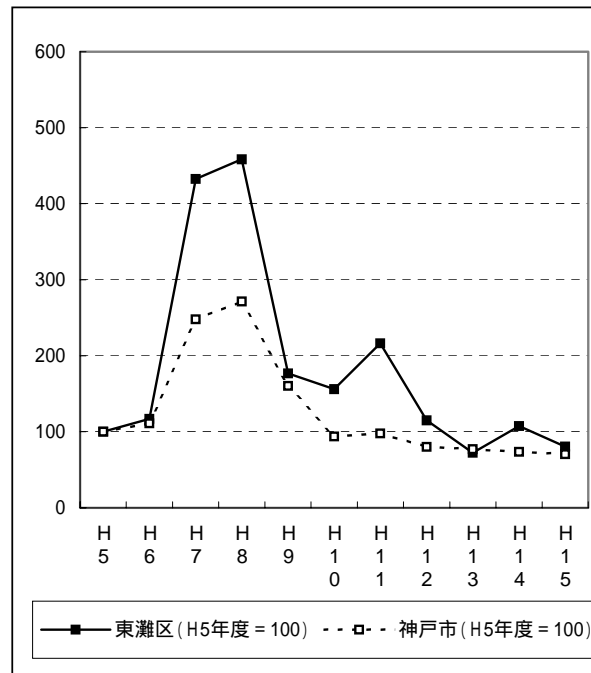
【神戸市との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
各分野ともに、神戸市平均より復興が進んでいる。

1. 人口
平成12年に震災前水準に回復し、増加が続く。



2. 新設住宅着工戸数
平成7, 8年度がピークで、現在は震災前と同水準。

3. 製造品出荷額等・小売業商品販売額
右肩下がりだが、神戸市平均よりは回復している。

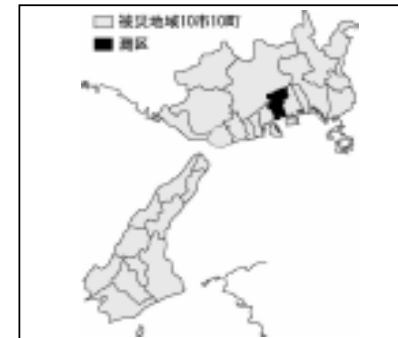


(2)神戸市 灘区

【地域の概要】

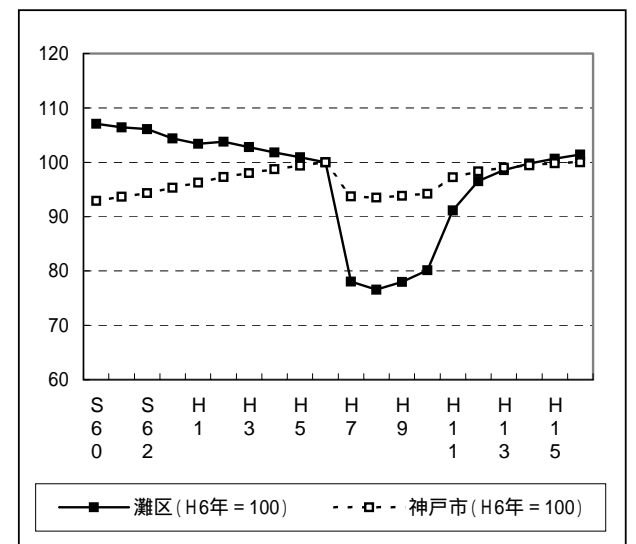
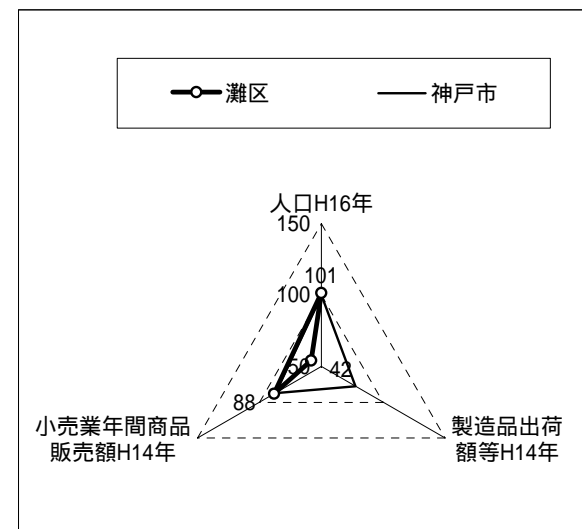
面積	32.4 km ²
人口	125,698 人
世帯数	60,217 世帯
死者数	933 人
全壊棟数	13,222 棟
半壊棟数	5,677 棟

【位置図】



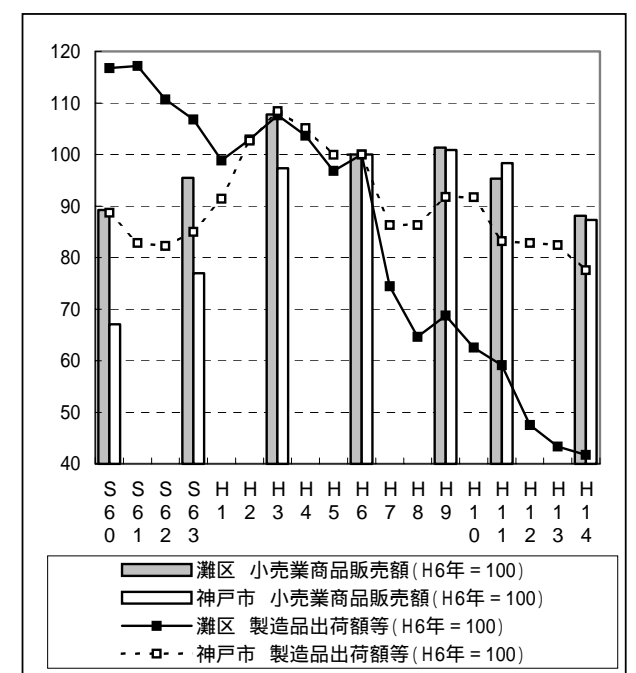
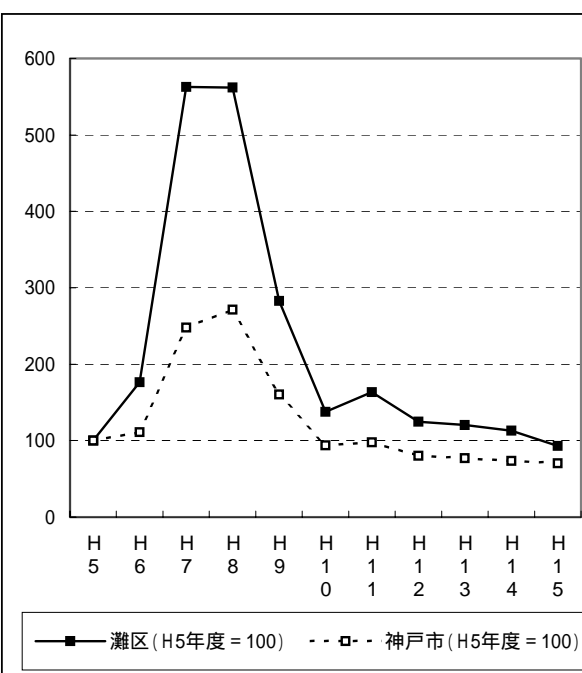
【神戸市との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
製造業の落ち込みが激しい。

1. 人口
震災後5年までに急回復した後も、増加が続く。



2. 新設住宅着工戸数
平成7, 8年度がピークで、その後は減少。

3. 製造品出荷額等・小売業商品販売額
製造品出荷額等の減少が激しい。



(3)神戸市 中央区

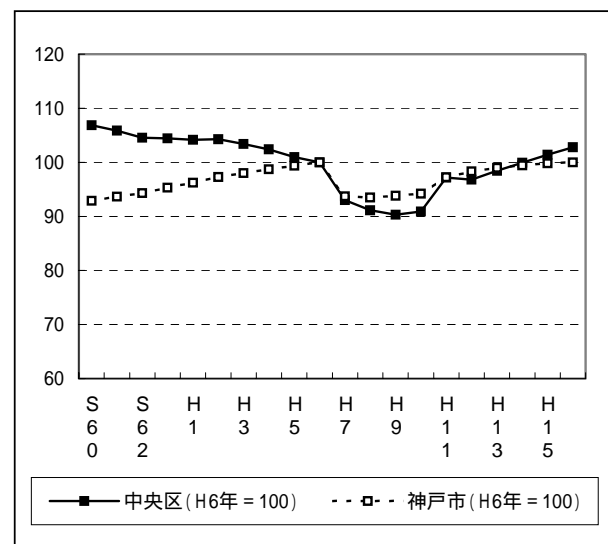
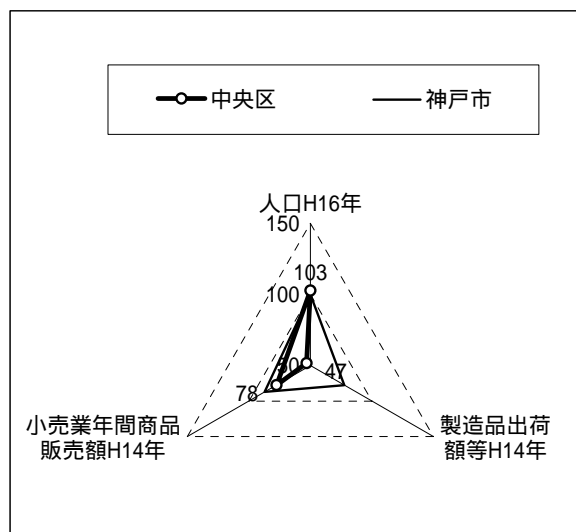
【地域の概要】

面積	26.31 km ²
人口	113,115 人
世帯数	60,509 世帯
死者数	244 人
全壊棟数	6,409 棟
半壊棟数	6,658 棟

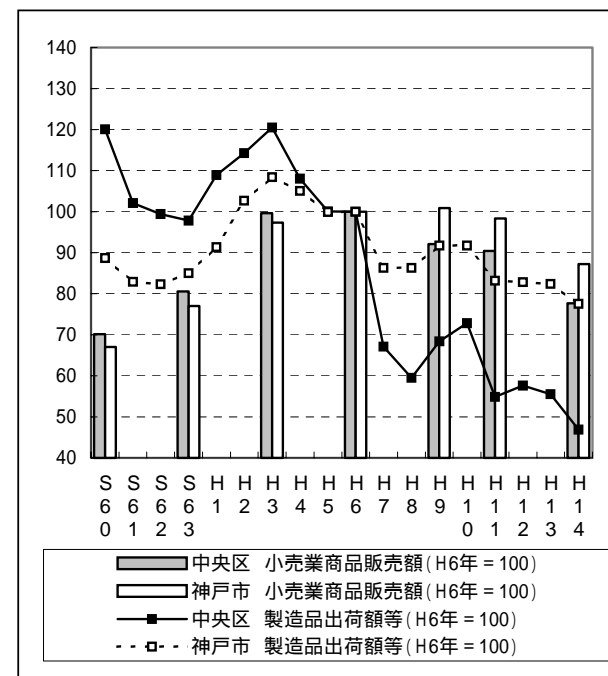
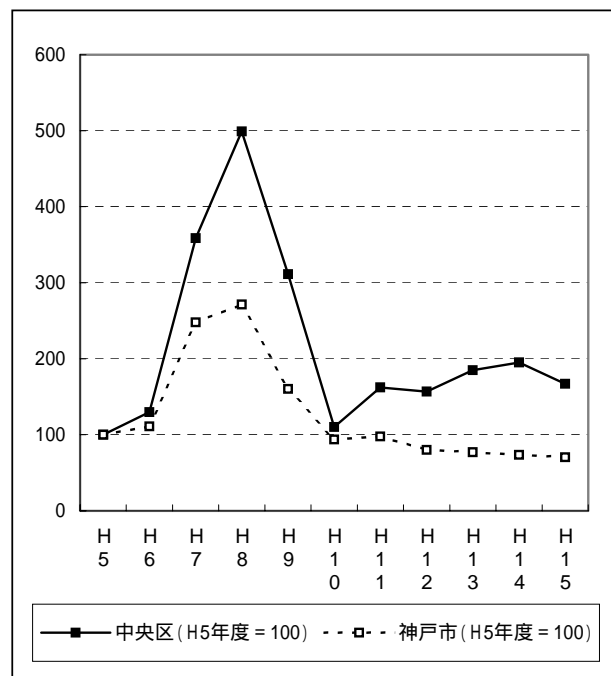
【位置図】



【神戸市との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】1.人口
小売業、製造業の復興が遅れている。 平成14年に震災前水準に回復し、増加が続く。



2. 新設住宅着工戸数 復興需要が一段落した後も、高い水準で着工が続く。
3. 製造品出荷額等・小売業商品販売額 ともに震災前水準、神戸市平均を大きく下回っている。



(4)神戸市 兵庫区

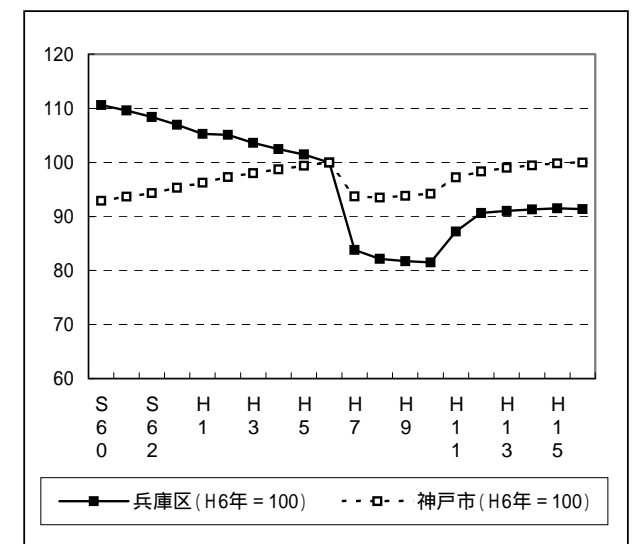
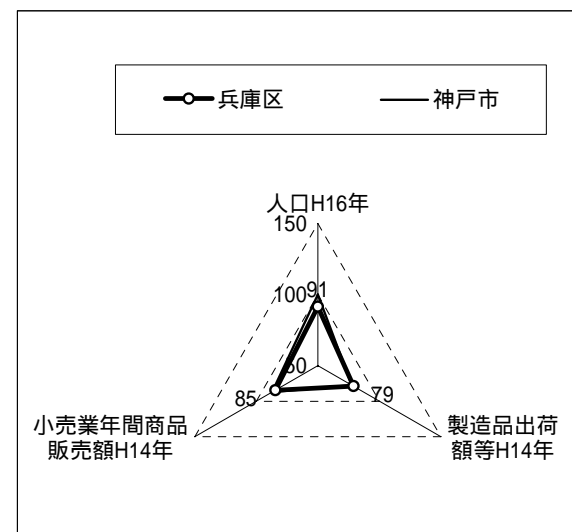
【地域の概要】

面積	14.52 km ²
人口	107,933 人
世帯数	53,558 世帯
死者数	555 人
全壊棟数	10,473 棟
半壊棟数	8,124 棟

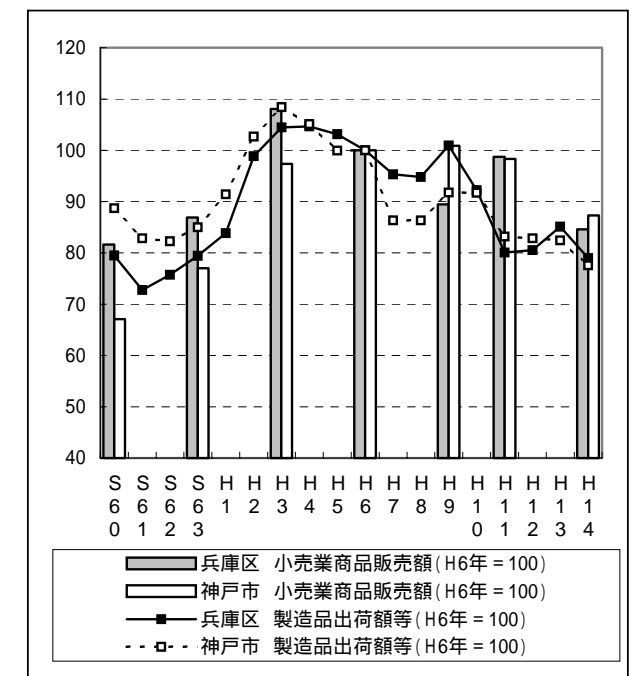
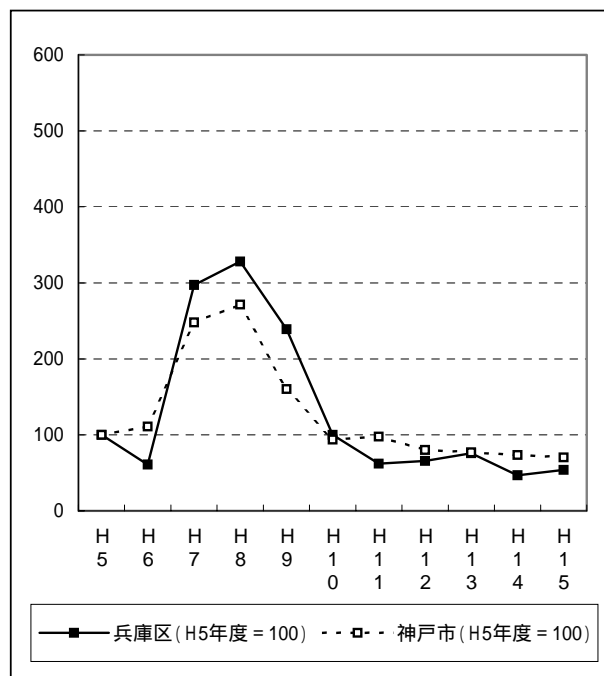
【位置図】



【神戸市との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】1.人口
神戸市平均より、人口の回復が遅れている。 平成12年以降、震災前9割の水準で横ばいが続く。



2. 新設住宅着工戸数 平成11年度以降は、震災前水準を下回る。
3. 製造品出荷額等・小売業商品販売額 震災後水準には回復せず、減少で推移。

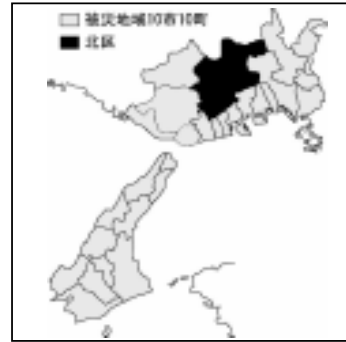


(5) 神戸市 北区

(6) 長田区 [地域の概要]

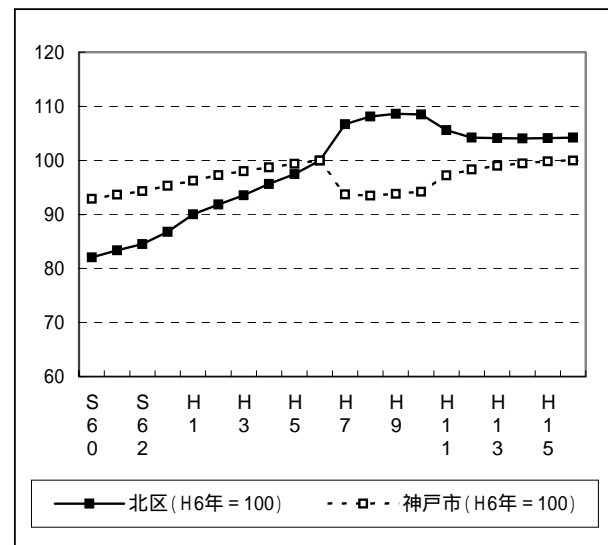
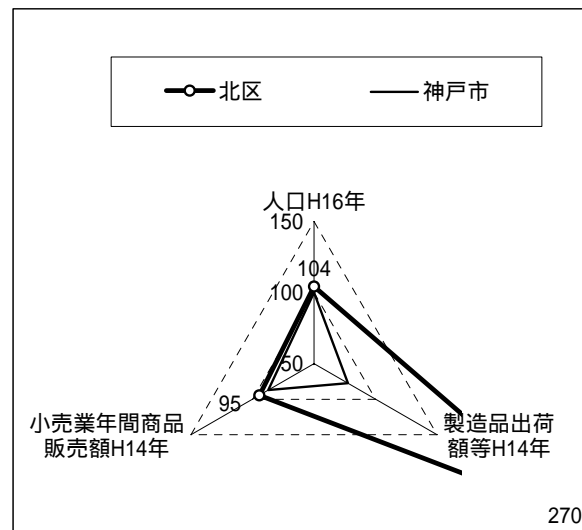
面積	240.71 km ²
人口	224,883 人
世帯数	81,612 世帯
死者数	12 人
全壊棟数	272 棟
半壊棟数	3,140 棟

[位置図]



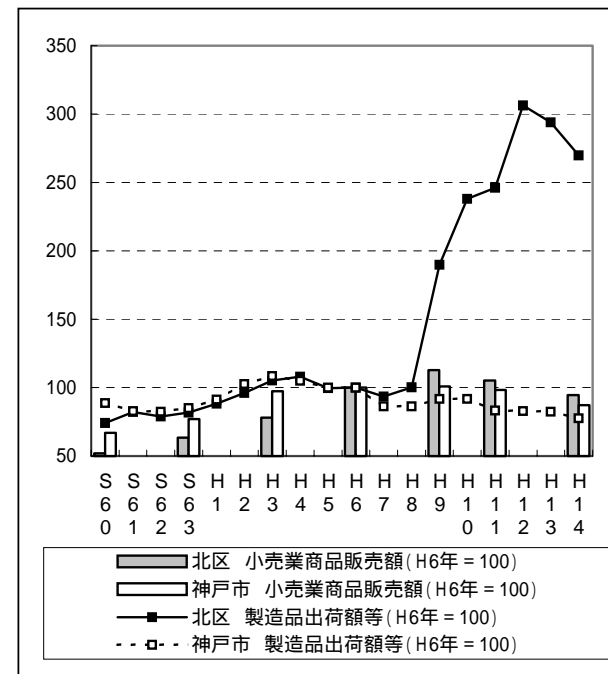
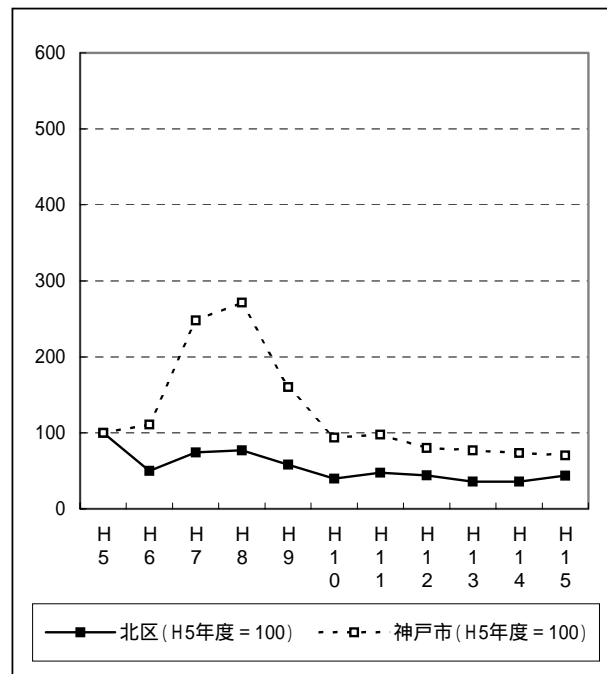
【神戸市との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
3分野ともに成長。特に製造業の伸びが著しい。

1. 人口
震災後5年間は、人口が流入し、増加している。



2. 新設住宅着工戸数
震災前に比べ、着工戸数は低水準で横ばいに推移。

3. 製造品出荷額等・小売業商品販売額
ともに市平均を上回り、特に製造業は成長著しい。



(6) 神戸市 長田区

[地域の概要]

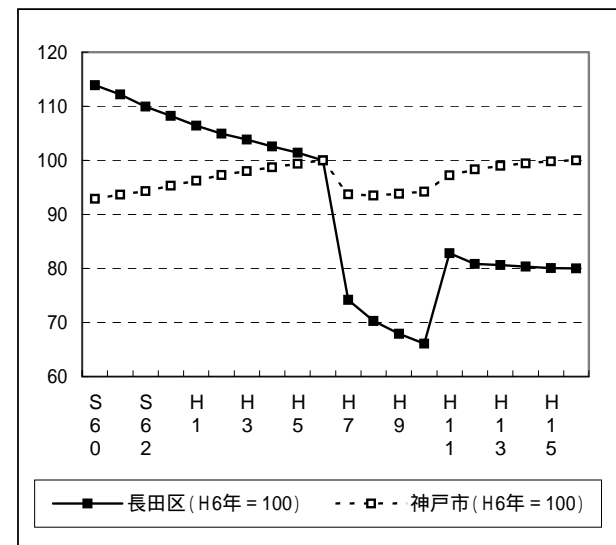
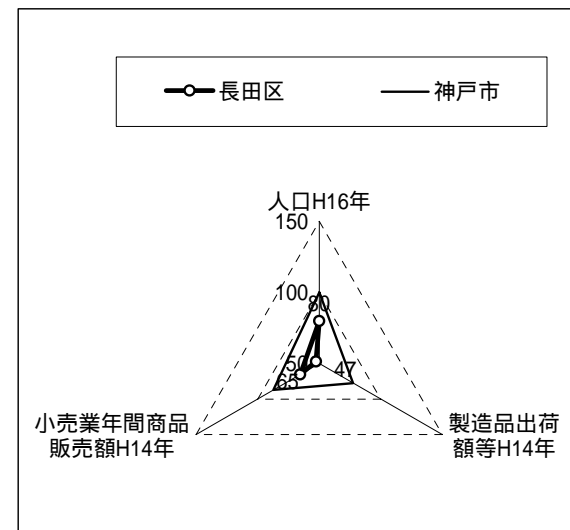
面積	11.48 km ²
人口	104,448 人
世帯数	47,444 世帯
死者数	919 人
全壊棟数	20,280 棟
半壊棟数	8,295 棟

[位置図]



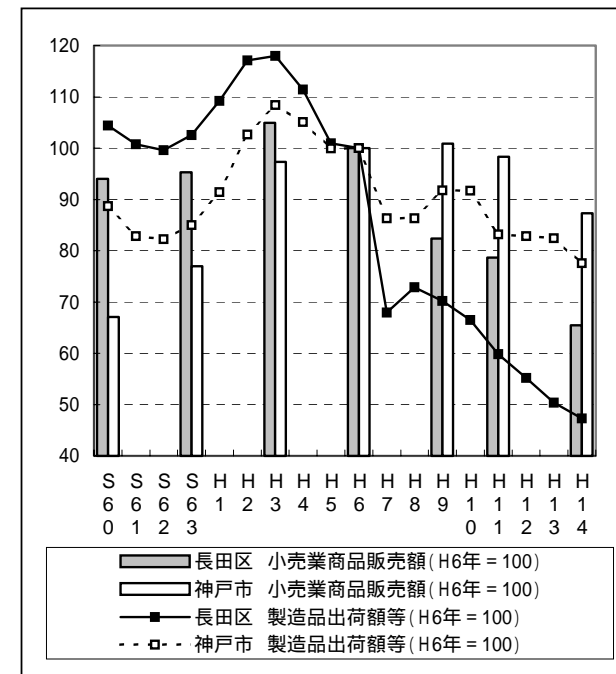
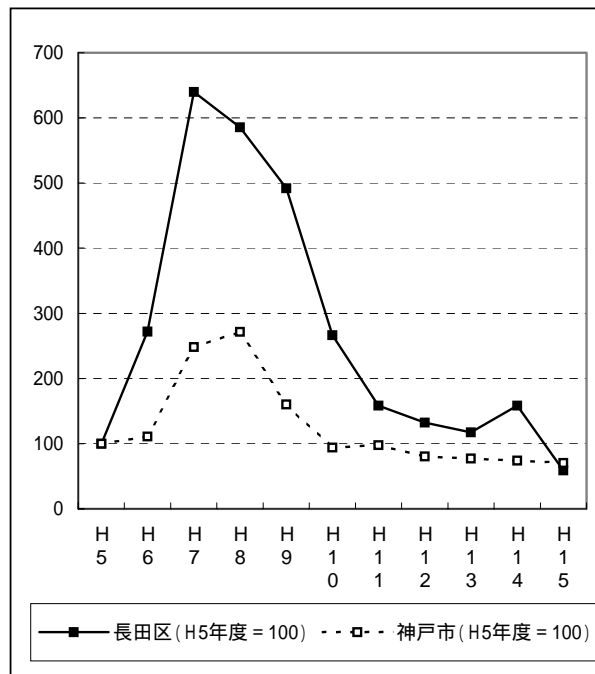
【神戸市との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
各分野ともに、神戸市平均を大きく下回る。

1. 人口
近年は、震災前8割の水準で横ばいに推移。



2. 新設住宅着工戸数
平成14年度まで、震災前の水準を上回る。

3. 製造品出荷額等・小売業商品販売額
製造業、小売業ともに、落ち込みが激しい。



(7)神戸市 須磨区

【地域の概要】

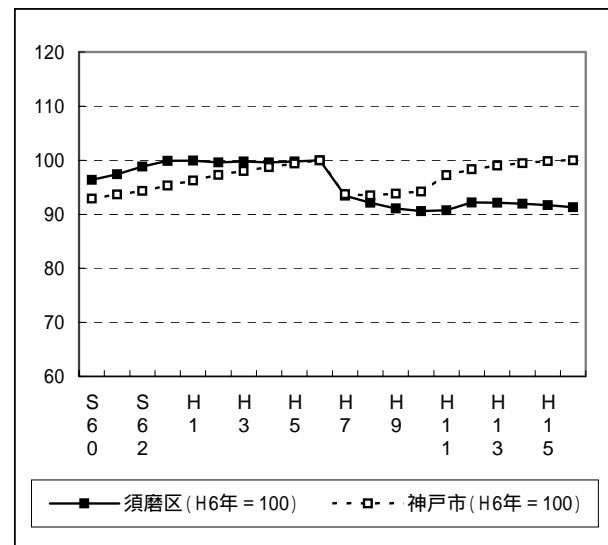
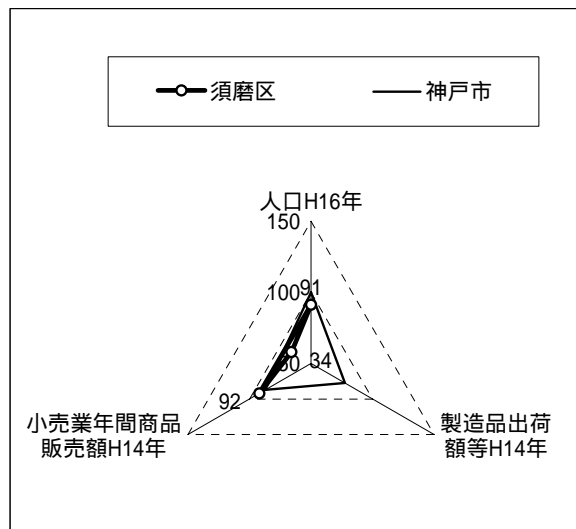
面積	28.91 km ²
人口	173,137 人
世帯数	69,719 世帯
死者数	401 人
全壊棟数	8,103 棟
半壊棟数	5,617 棟

【位置図】



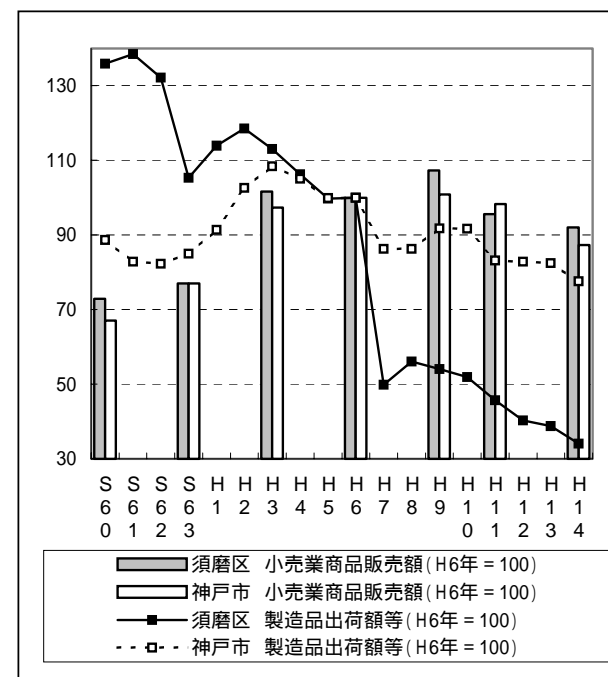
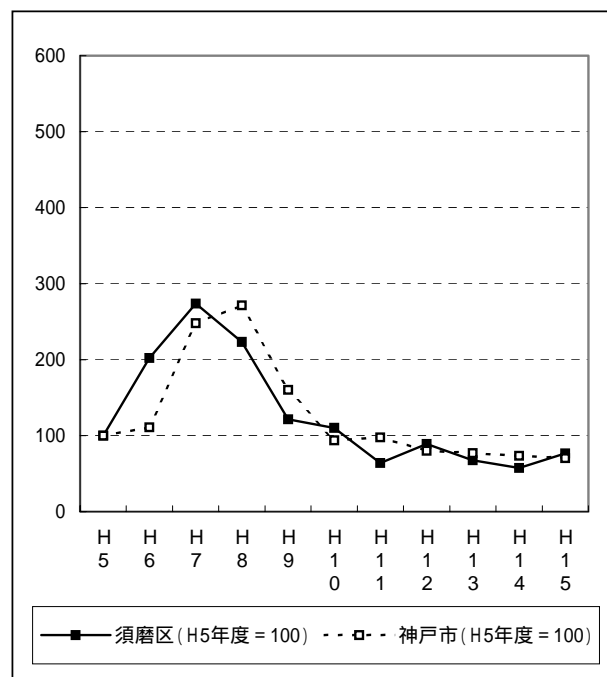
【神戸市との人口・産業の比較 (震災直前値を100とする)】
特に人口と製造業の回復が遅れている。

1. 人口
震災後減少した人口が、回復せず横ばいで推移。



2. 新設住宅着工戸数
復興需要が長続きせず、震災前以下の水準で推移。

3. 製造品出荷額等・小売業商品販売額
製造品出荷額等の落ち込みが激しい。

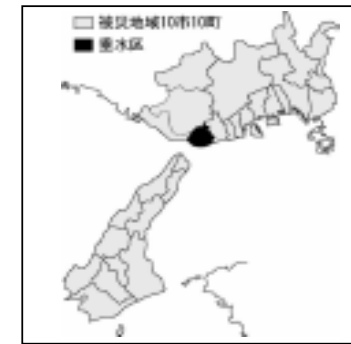


(8)神戸市 垂水区

【地域の概要】

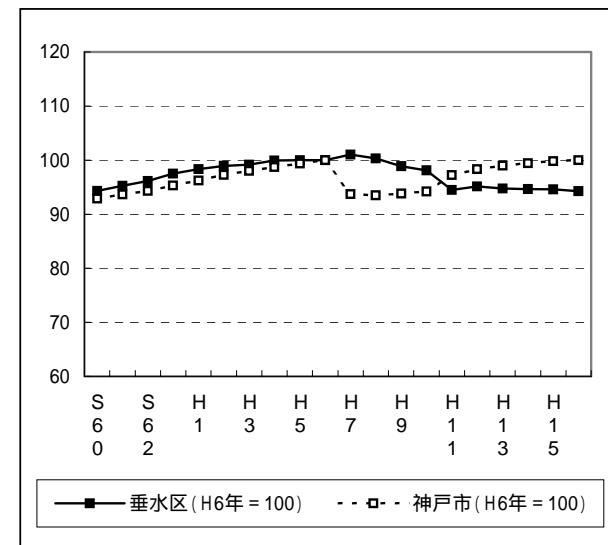
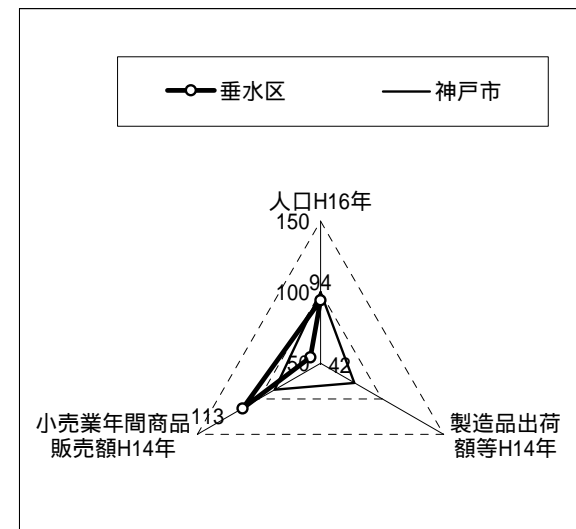
面積	28.02 km ²
人口	224,892 人
世帯数	91,914 世帯
死者数	25 人
全壊棟数	1,177 棟
半壊棟数	8,892 棟

【位置図】



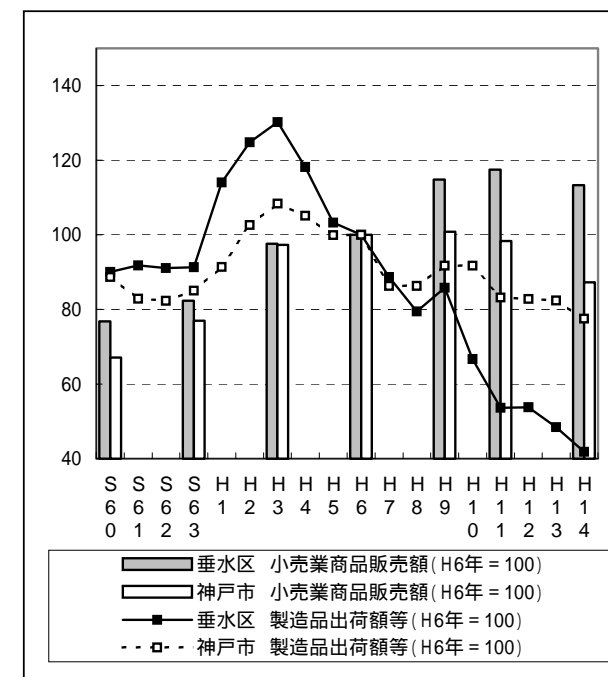
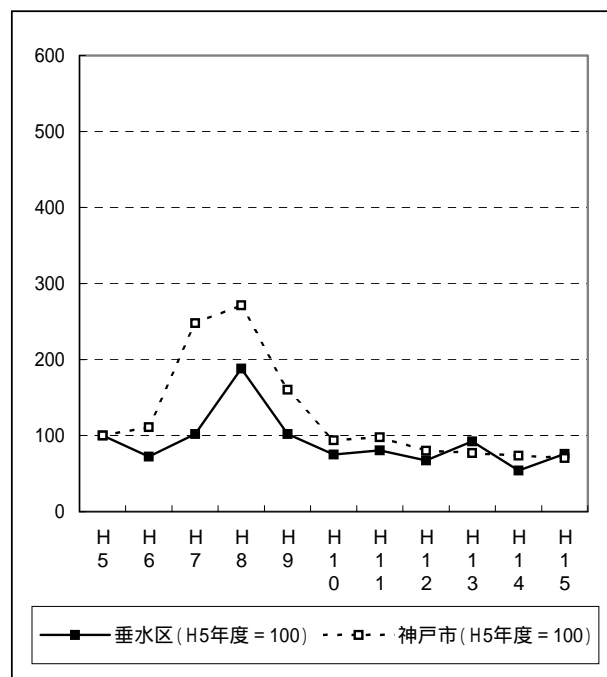
【神戸市との人口・産業の比較 (震災直前値を100とする)】
小売業が伸びる一方、製造業の回復が遅れる。

1. 人口
震災後、約5年にわたり人口が流出している。



2. 新設住宅着工戸数
復興需要は小さく、震災の影響は少ない。

3. 製造品出荷額等・小売業商品販売額
小売業が伸びる一方、製造業の落ち込みが激しい。

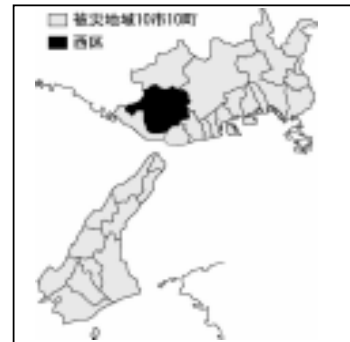


(9)神戸市 西区

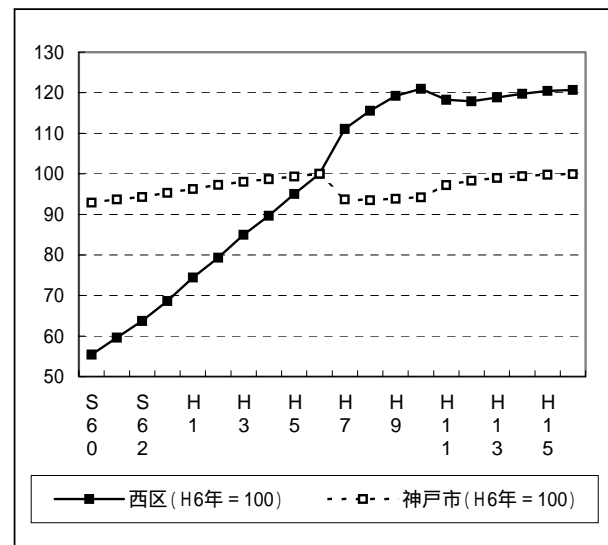
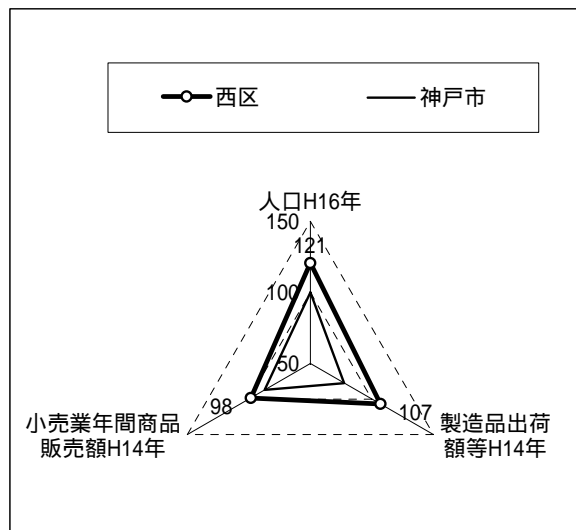
【地域の概要】

面積	137.82 km ²
人口	240,805 人
世帯数	84,871 世帯
死者数	11 人
全壊棟数	436 棟
半壊棟数	3,262 棟

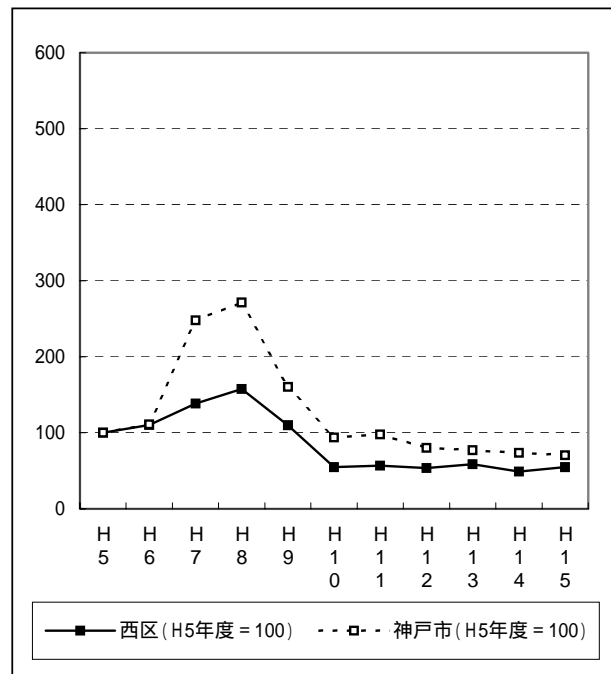
【位置図】



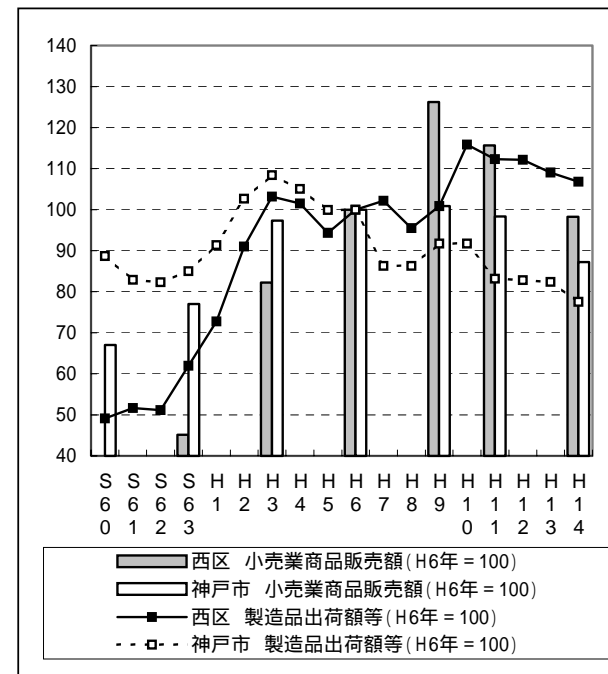
【神戸市との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】1.人口
各分野ともに、神戸市平均を大きく上回る。震災前からの増加傾向が続くが、平成10年より横ばい。



2. 新設住宅着工戸数
平成10年以降は、震災前を下回る水準で横ばい。



3. 製造品出荷額等・小売業商品販売額
商業、製造業ともに、市平均を大きく上回る。



2. 尼崎市

[地域の概要]

面積・人口・世帯数

面積	49.77 (km ²)
人口	462,995 (人)
世帯数	195,336 (世帯)
死者	49人
全壊棟数	5,688棟
半壊棟数	36,002棟

位置

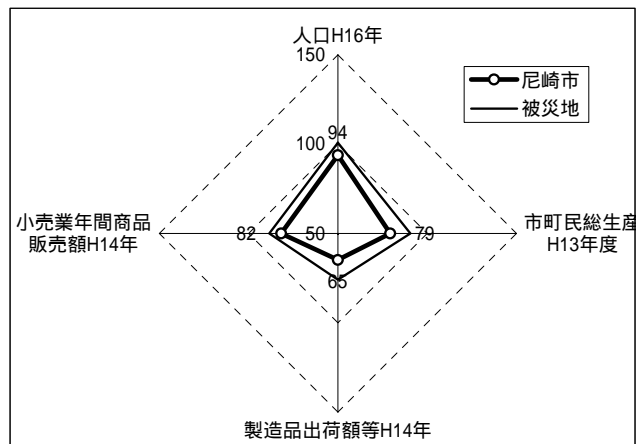


地域図



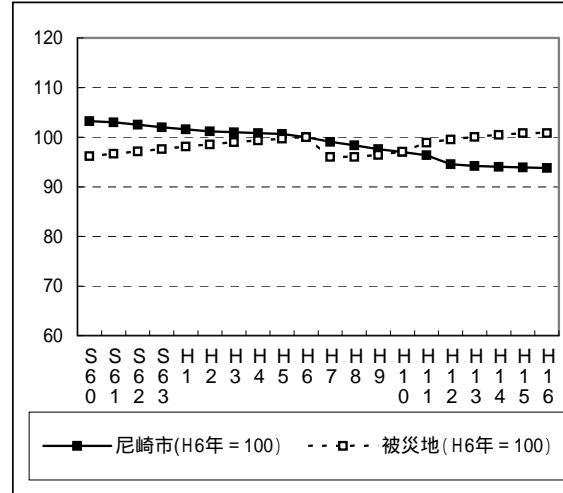
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第252号) なお、各地域により拡大・縮小の割合を変えているため、縮尺は正確ではありません。

【被災地全体との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
4分野のいずれも、被災地平均を下回る。



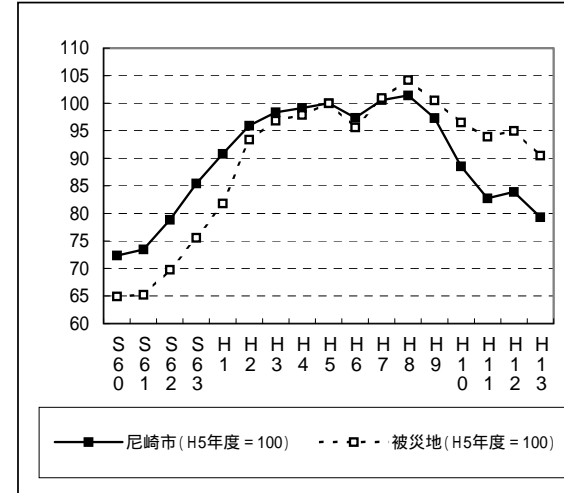
1. 人口

震災以前からの減少が続く。



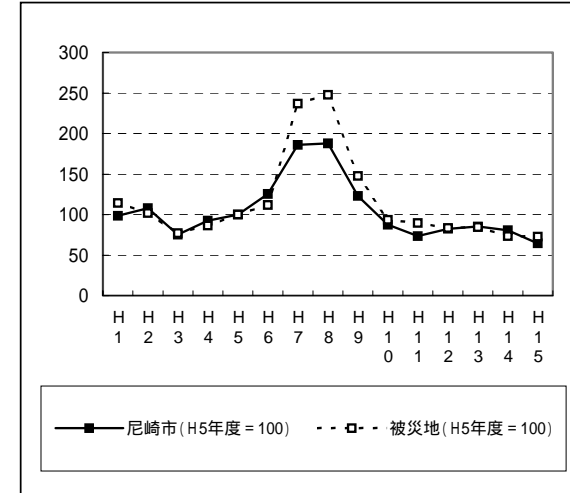
2. 市民総生産

復興需要は少なく、その後の落ち込みが激しい。



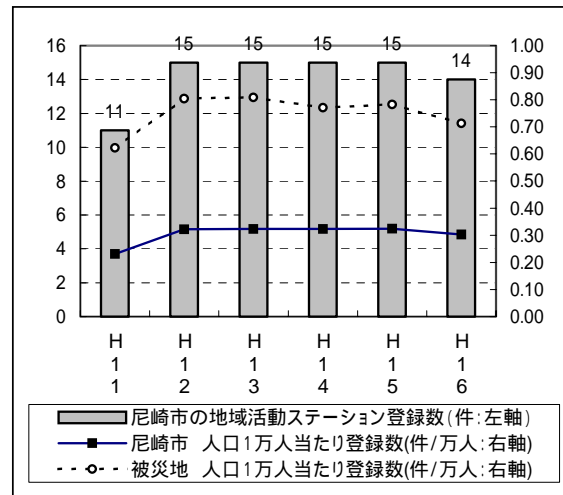
3. 新設住宅着工戸数

復興需要の後は、震災前水準を下回る。



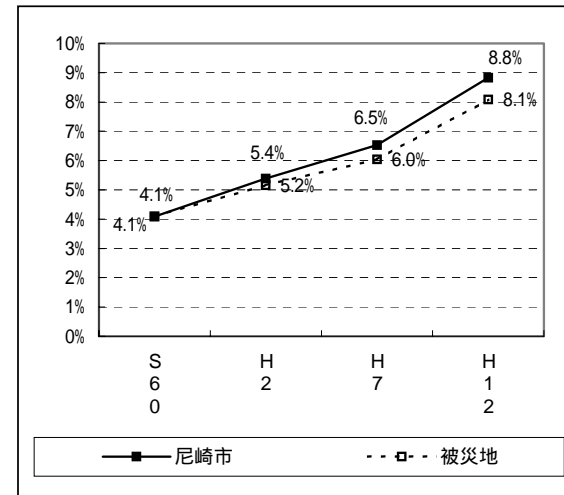
4. 地域活動ステーション

被災地平均に比べて、登録件数が低い。



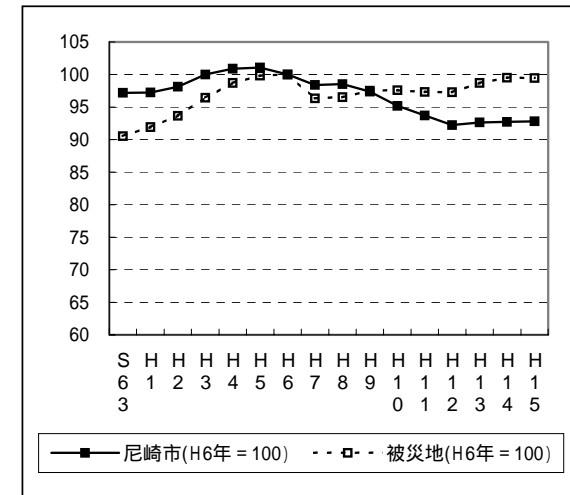
5. 単身高齢者世帯率

震災後、高齢者単身世帯の割合が増加。



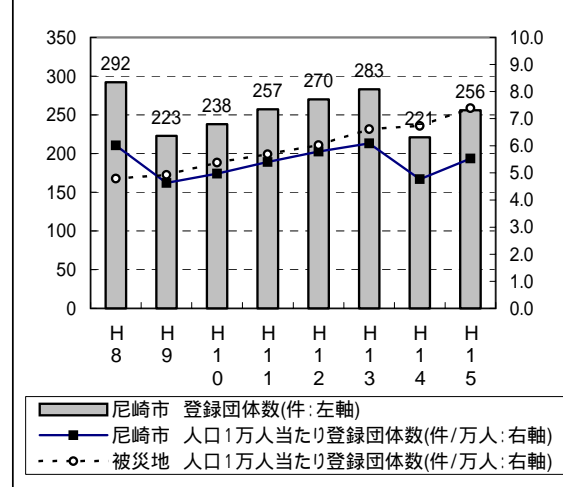
6. 外国人登録者数

震災後約5年間、減少が続いている。



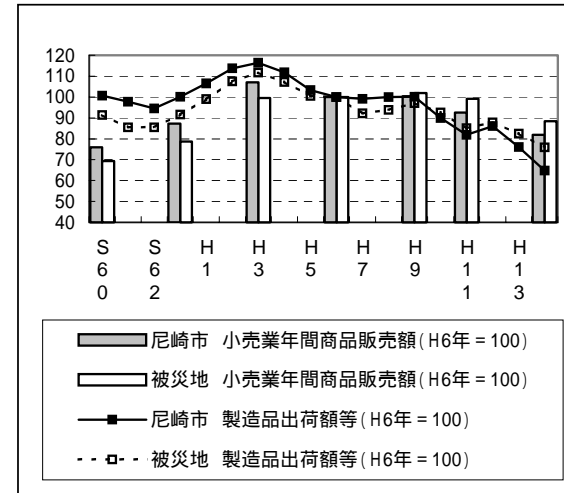
7. ボランティア登録団体数の推移

平成13年まで増加だが、平成14年に減少。



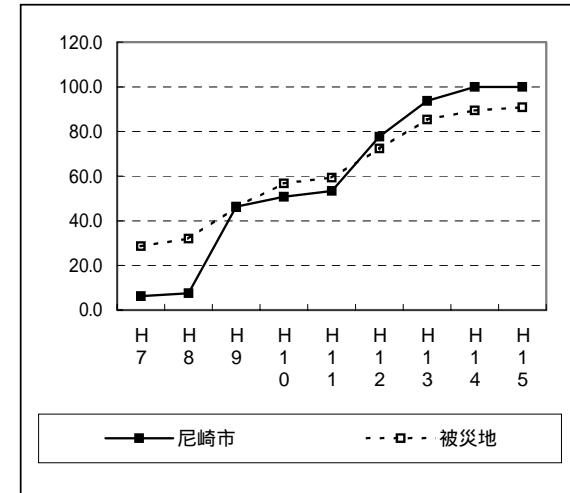
8. 製造品出荷額等・小売業商品販売額

ともに復興需要は限定的であり、減少が続く。



9. 自主防災組織の組織率

平成14年に100%を達成している。



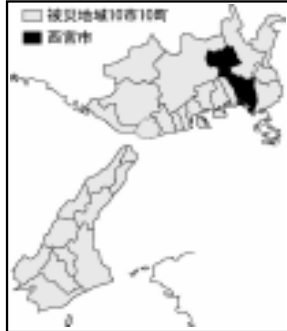
3. 西宮市

【地域の概要】

面積・人口・世帯数

面積	99.37 (km ²)
人口	456,037 (人)
世帯数	189,307 (世帯)
死者	1,126人
全壊棟数	20,667棟
半壊棟数	14,597棟

位置

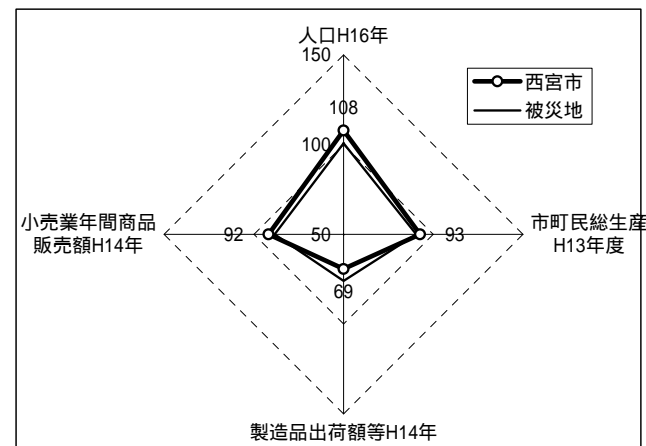


地域図



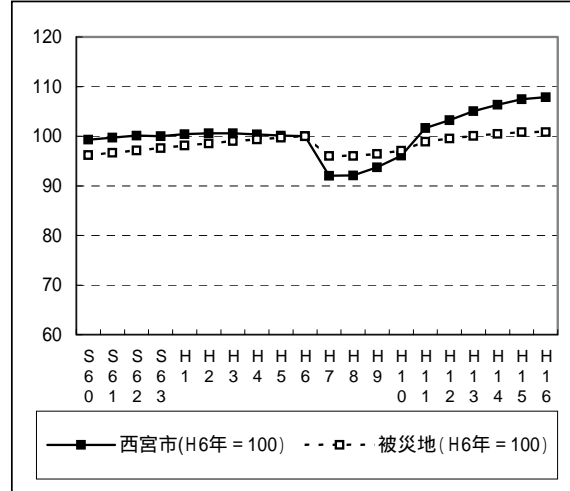
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第252号) なお、各地域により拡大・縮小の割合を変えているため、縮尺は正確ではありません。

【被災地全体との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
人口は回復するが、製造業は被災地平均を下回る。



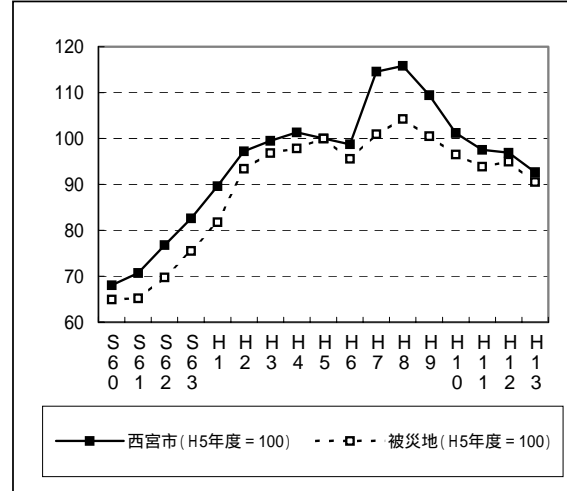
1. 人口

H11年に震災前水準に回復。その後も増加。



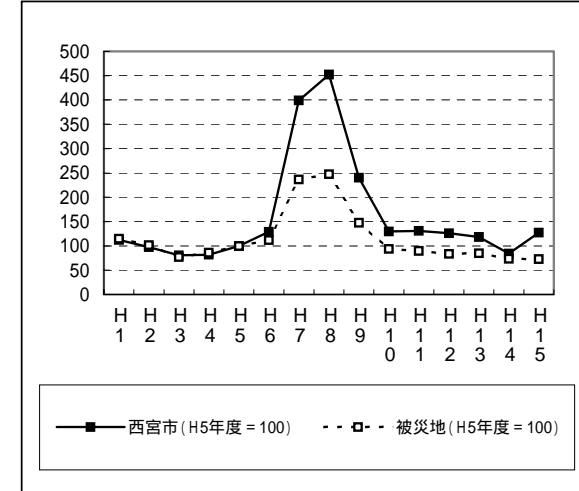
2. 市民総生産

復興需要が大いだが、その後減少が続く。



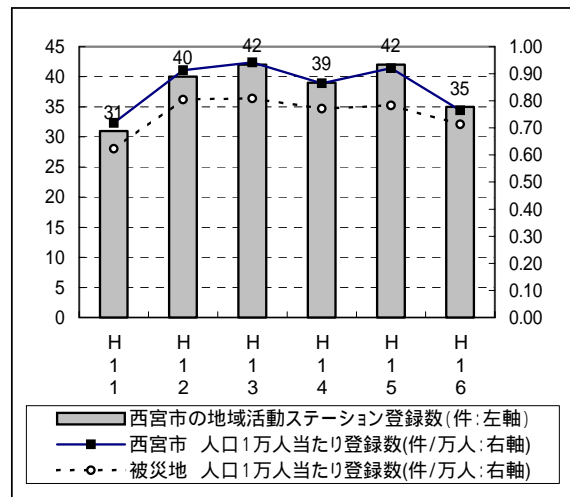
3. 新設住宅着工戸数

平成9年度まで復興需要が続く。



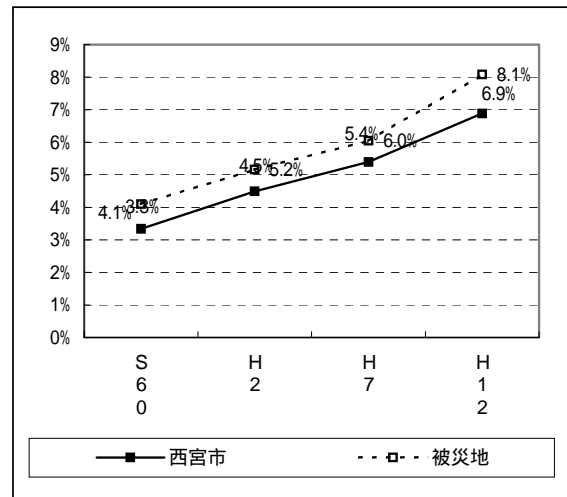
4. 地域活動ステーション

被災地平均を上回る水準で登録される。



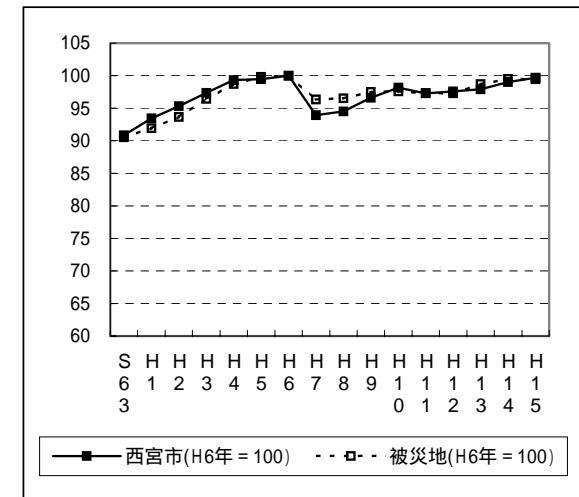
5. 単身高齢者世帯率

被災地平均を下回っている。



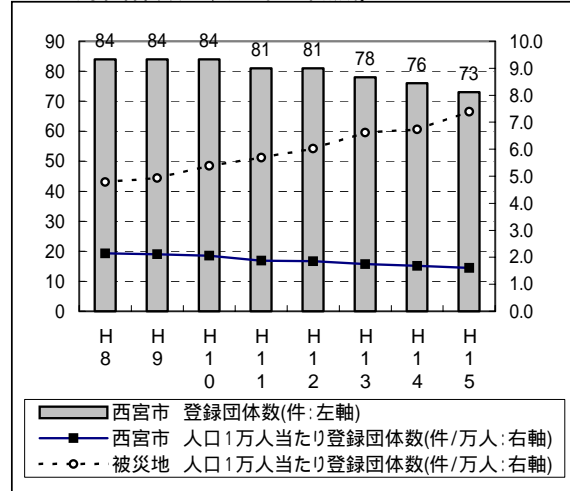
6. 外国人登録者数

震災後減少したが、ほぼ震災前水準まで回復。



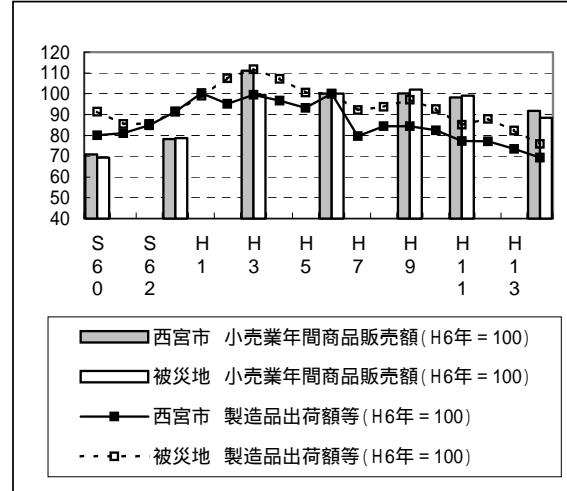
7. ボランティア登録団体数の推移

登録団体数は、近年は微減。



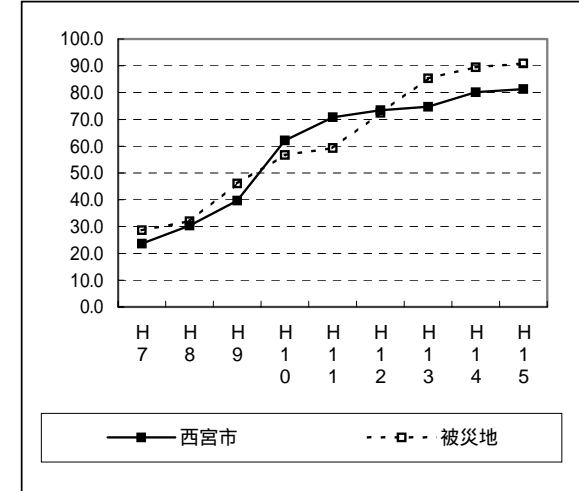
8. 製造品出荷額等・小売業商品販売額

製造業の復興需要は少なく、減少が続く。



9. 自主防災組織の組織率

増加が続き、平成15年で約8割となっている。



4. 芦屋市

【地域の概要】

面積・人口・世帯数

面積	18.5 (km ²)
人口	89,267 (人)
世帯数	37,335 (世帯)
死者	443人
全壊棟数	3,915棟
半壊棟数	3,571棟

位置

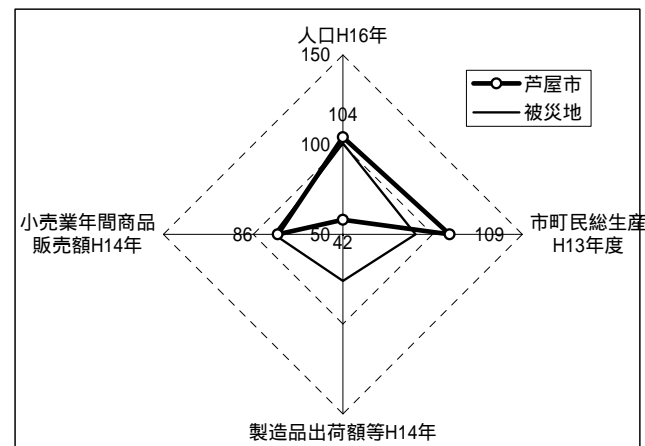


地域図



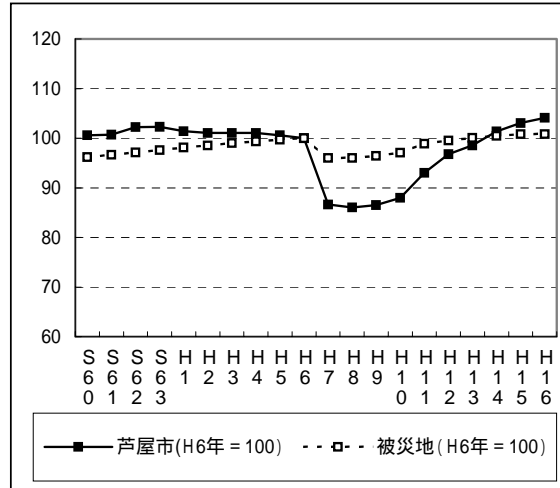
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第252号) なお、各地域により拡大・縮小の割合を変えているため、縮尺は正確ではありません。

【被災地全体との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
市町民総生産は高いが、製造業の落ち込みが激しい。



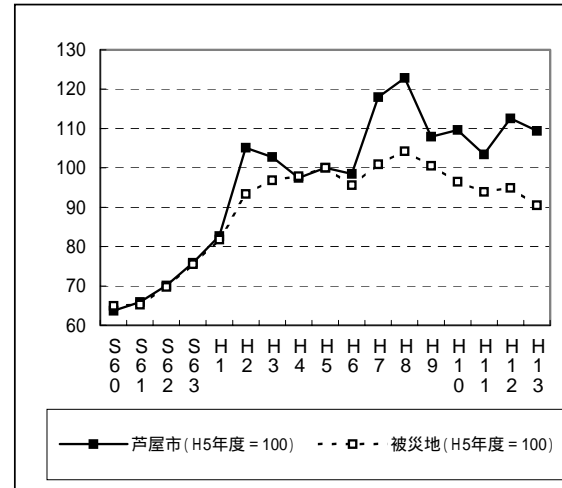
1. 人口

震災により減少したが、平成11年以降増加。



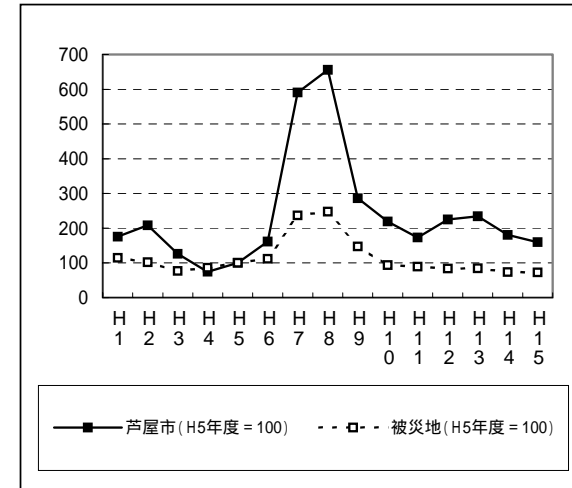
2. 市民総生産

復興需要が大きく、その後も震災前を上回る。



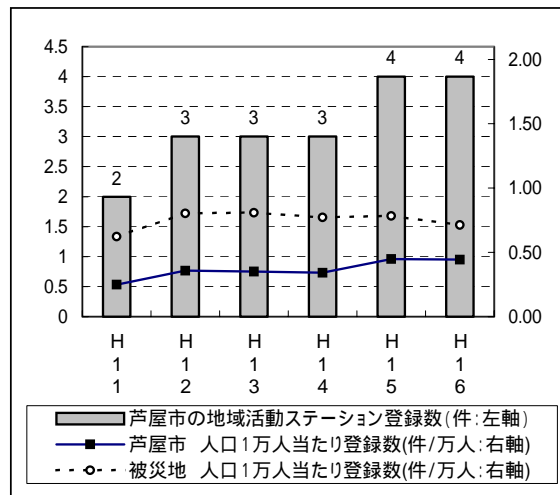
3. 新設住宅着工戸数

復興需要の後、震災前水準を上回っている。



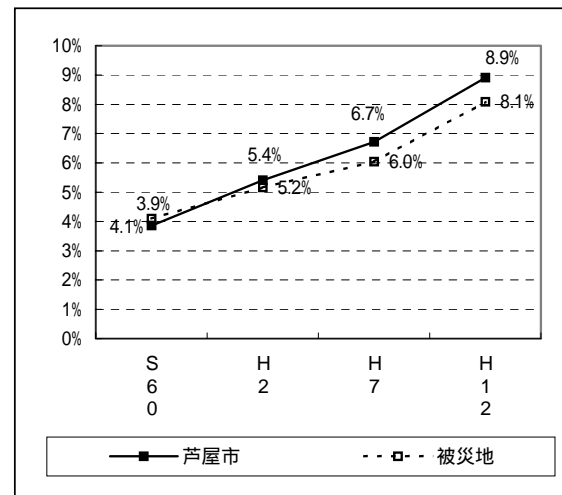
4. 地域活動ステーション

増加傾向にあるが、被災地平均を下回っている。



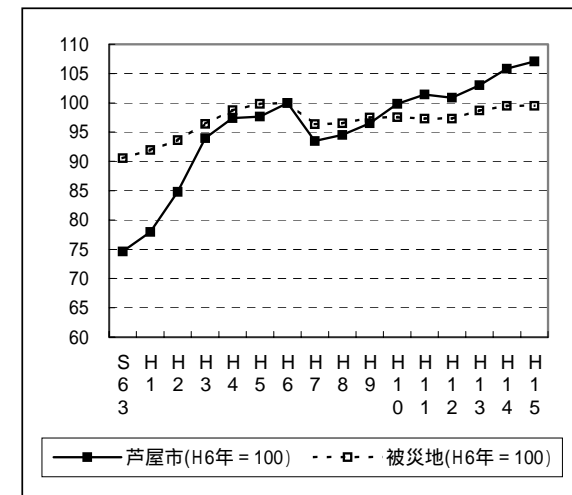
5. 単身高齢者世帯率

被災地平均を上回っている。



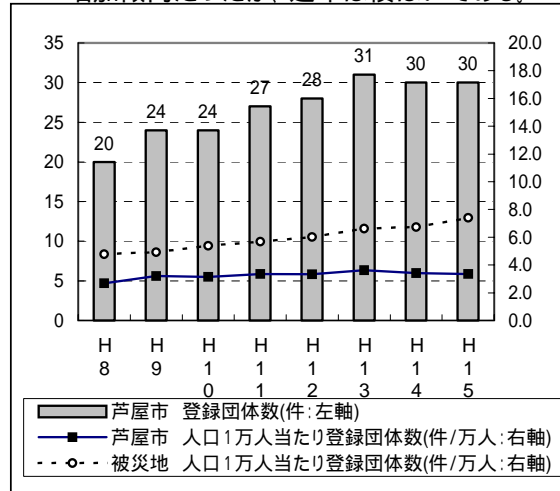
6. 外国人登録者数

平成10年に震災前水準に回復。その後も増加。



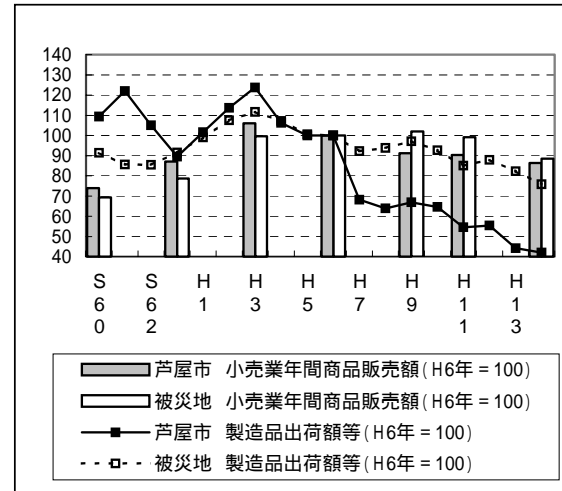
7. ボランティア登録団体数の推移

増加傾向だったが、近年は横ばいである。



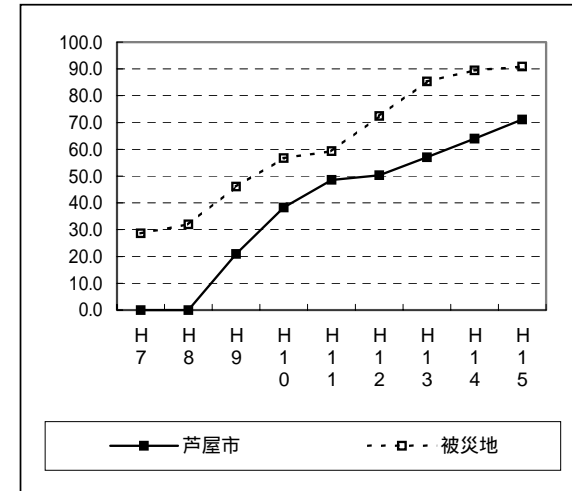
8. 製造品出荷額等・小売業商品販売額

震災後、製造品出荷額等の落ち込みが激しい。



9. 自主防災組織の組織率

被災地平均を大きく下回る。



5. 伊丹市

【地域の概要】

面積・人口・世帯数

面積	24.95 (km ²)
人口	192,616 (人)
世帯数	73,022 (世帯)
死者	22人
全壊棟数	1,395棟
半壊棟数	7,499棟

位置

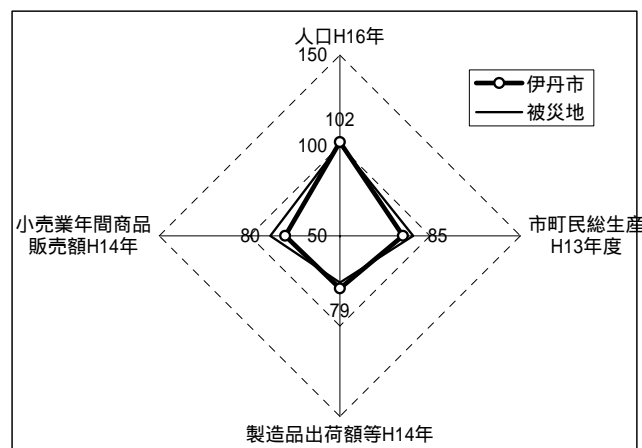


地域図

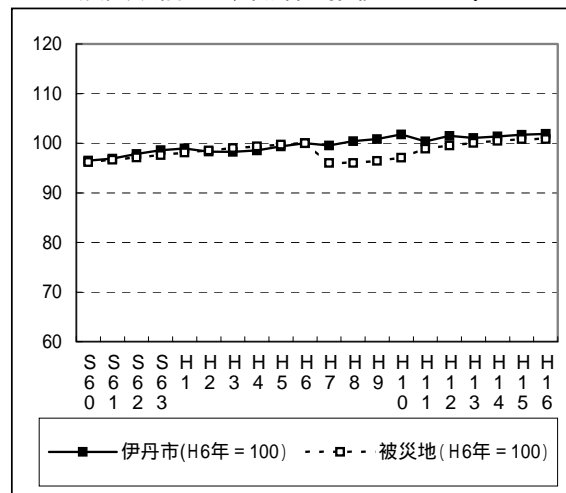


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第252号) なお、各地域により拡大・縮小の割合を変えているため、縮尺は正確ではありません。

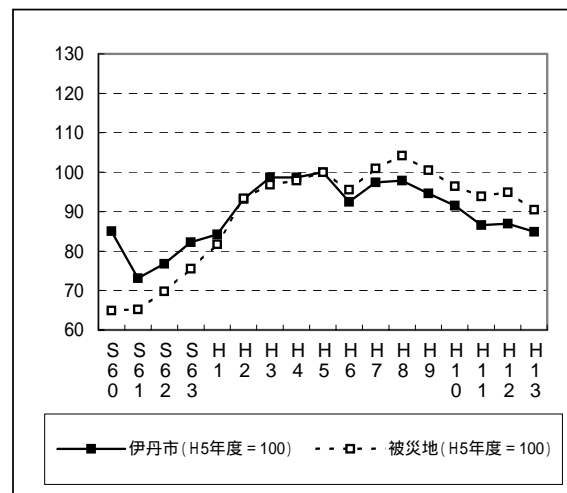
【被災地全体との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
小売業と市民総生産が、被災地平均を若干下回っている。



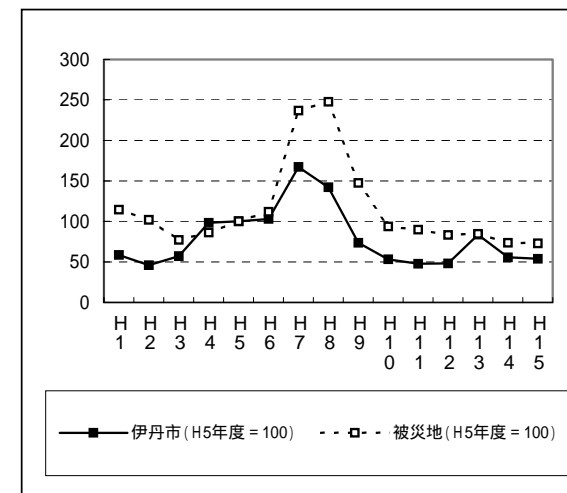
1. 人口
震災以前から、微増で推移している。



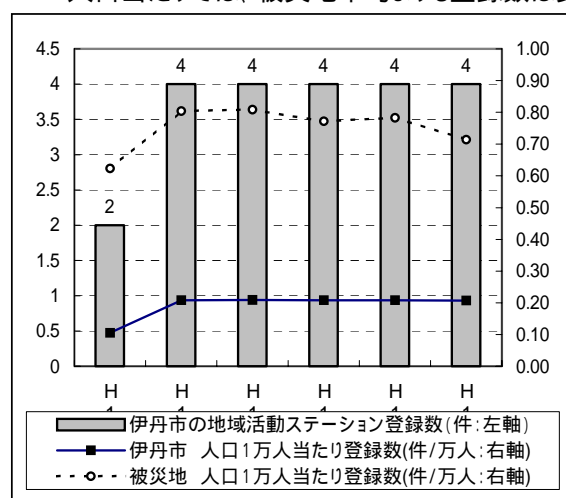
2. 市民総生産
復興需要は少なく、その後の落ち込みが激しい。



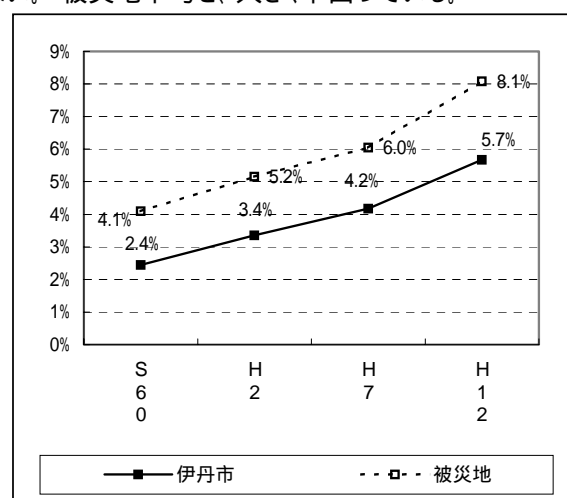
3. 新設住宅着工戸数
復興需要の後、震災前の半分の水準で横ばい。



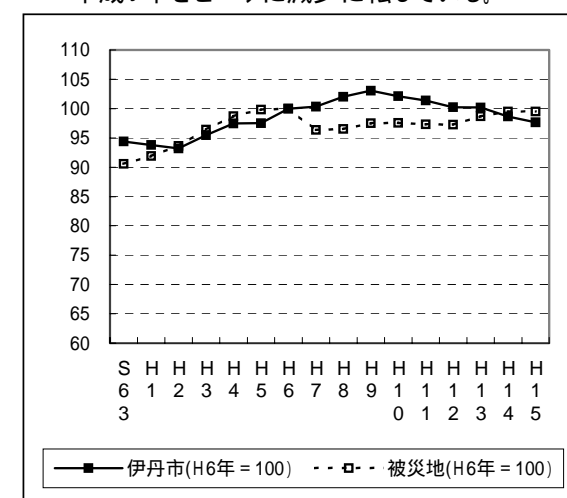
4. 地域活動ステーション
人口当たりでは、被災地平均よりも登録数は少ない。被災地平均を、大きく下回っている。



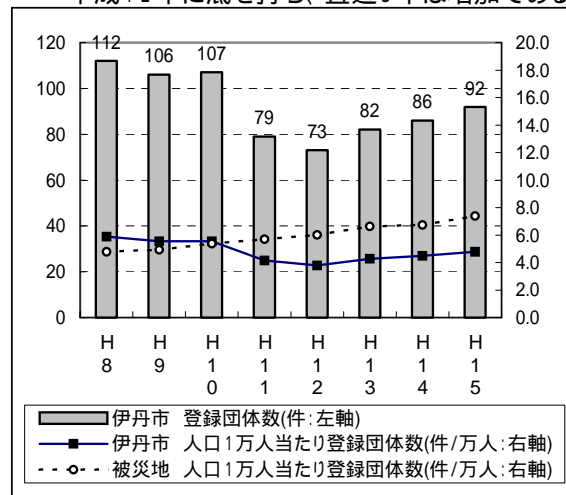
5. 単身高齢者世帯率
被災地平均を、大きく下回っている。



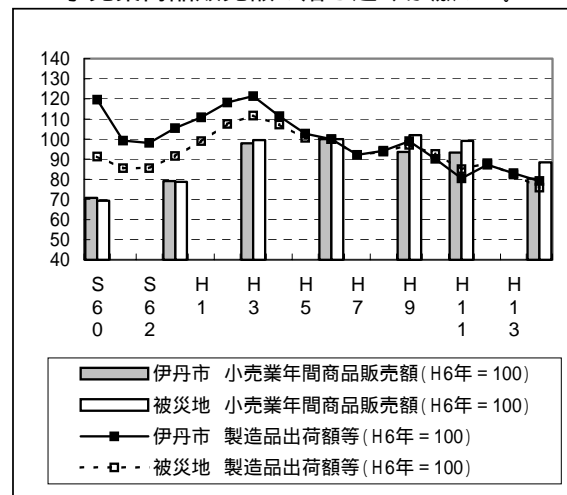
6. 外国人登録者数
平成9年をピークに減少に転じている。



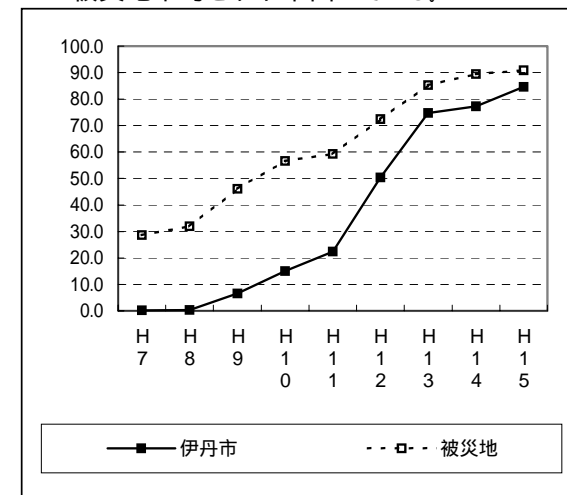
7. ボランティア登録団体数の推移
平成12年に底を打ち、直近3年は増加である。



8. 製造品出荷額等・小売業商品販売額
小売業商品販売額の落ち込みが激しい。



9. 自主防災組織の組織率
被災地平均をやや下回っている。



6. 宝塚市

【地域の概要】

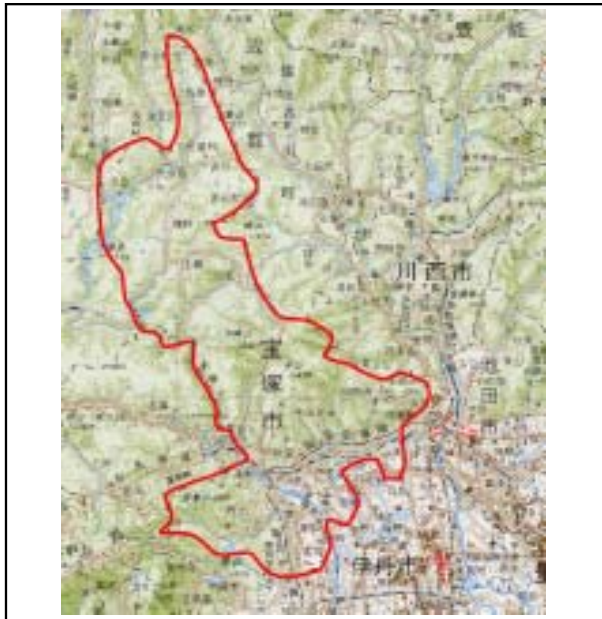
面積・人口・世帯数

面積	101.96 (km ²)
人口	218,371 (人)
世帯数	84,457 (世帯)
死者	117人
全壊棟数	3,559棟
半壊棟数	9,313棟

位置

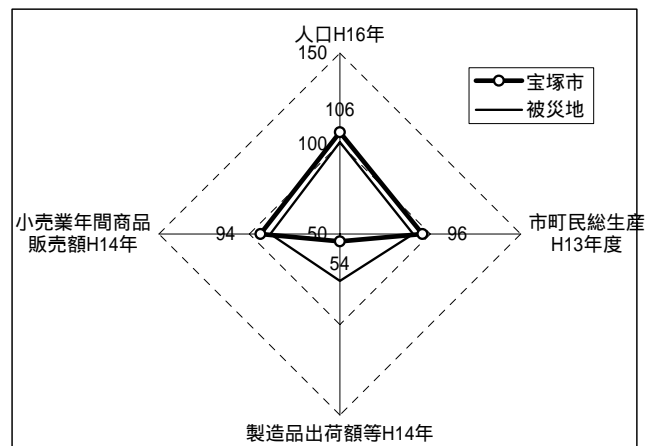


地域図



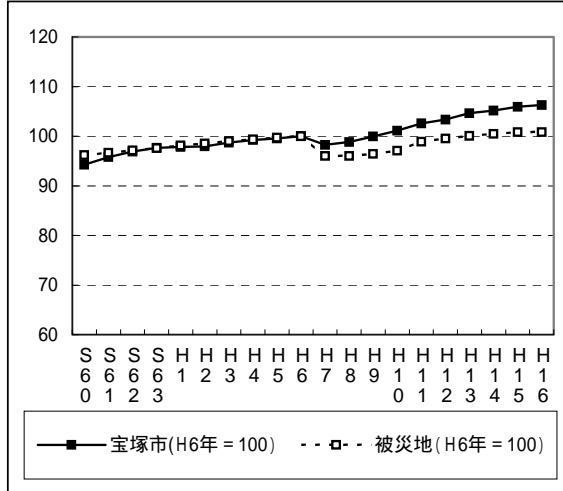
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第252号) なお、各地域により拡大・縮小の割合を変えているため、縮尺は正確ではありません。

【被災地全体との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
製造品出荷額の落ち込みが激しい。



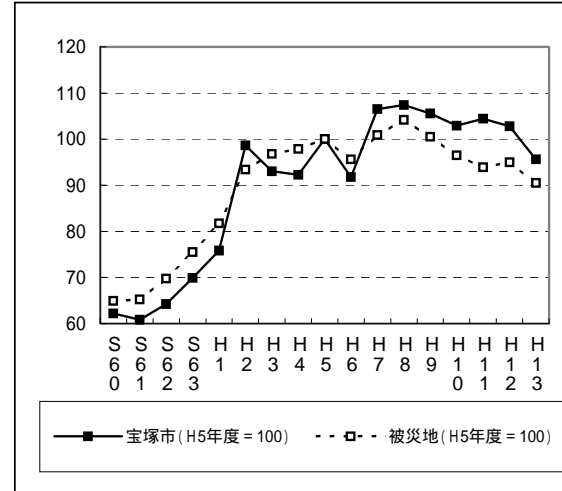
1. 人口

震災直後を除き、増加が続いている。



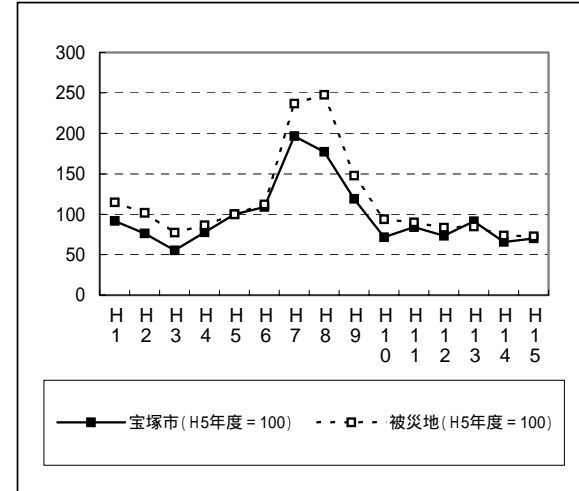
2. 市民総生産

平成7~12年度まで、震災前水準を上回っている。



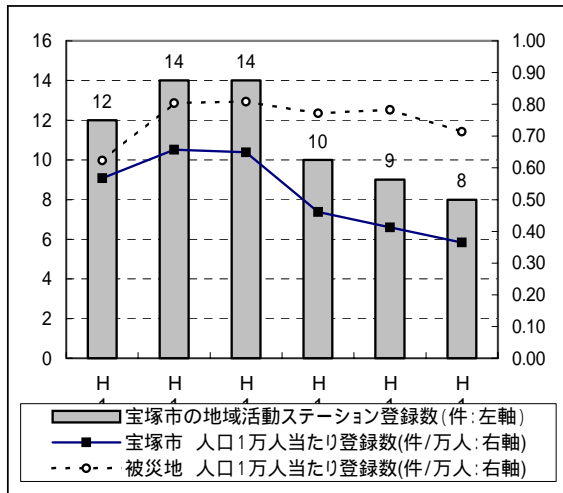
3. 新設住宅着工戸数

平成10年度以降は、震災前水準を下回っている。



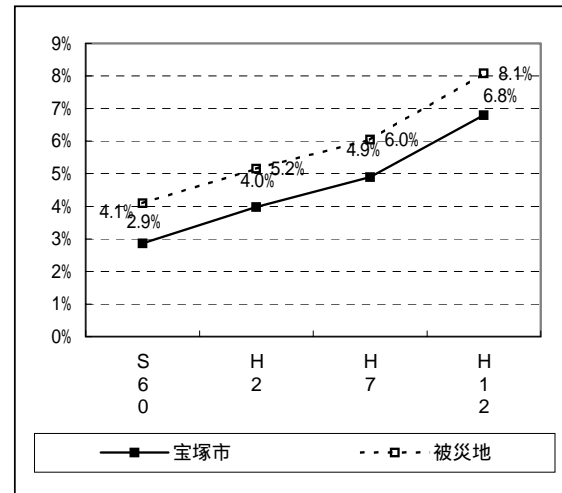
4. 地域活動ステーション

平成12,13年をピークに減少。



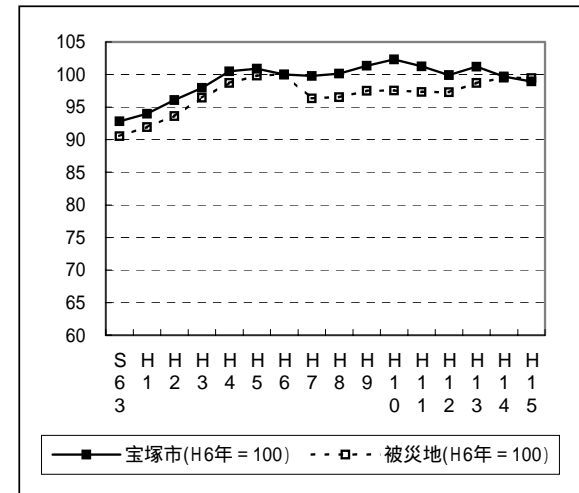
5. 単身高齢者世帯率

被災地平均を下回っている。



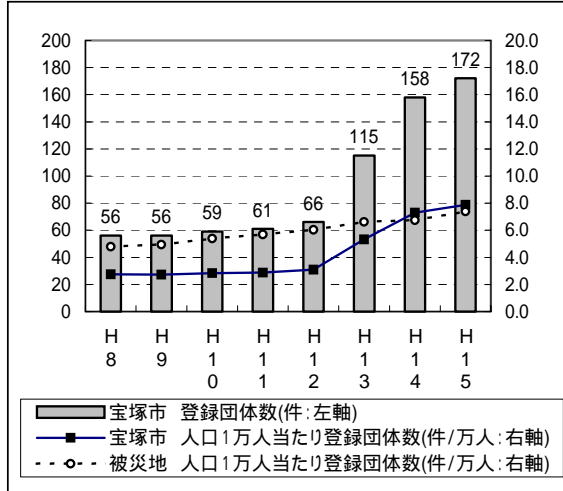
6. 外国人登録者数

震災の影響は少なく、横ばいに推移している。



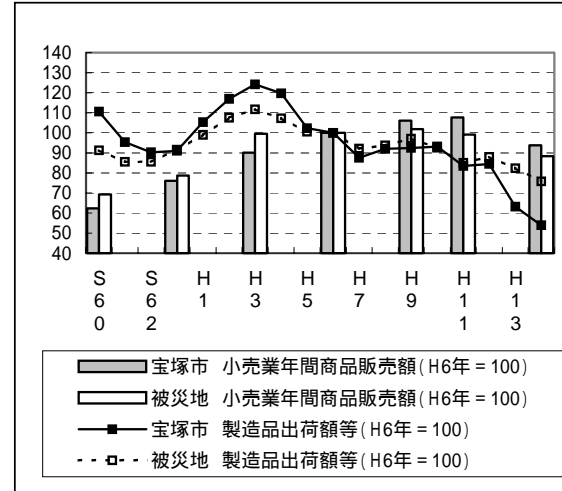
7. ボランティア登録団体数の推移

平成13年以降、急増している。



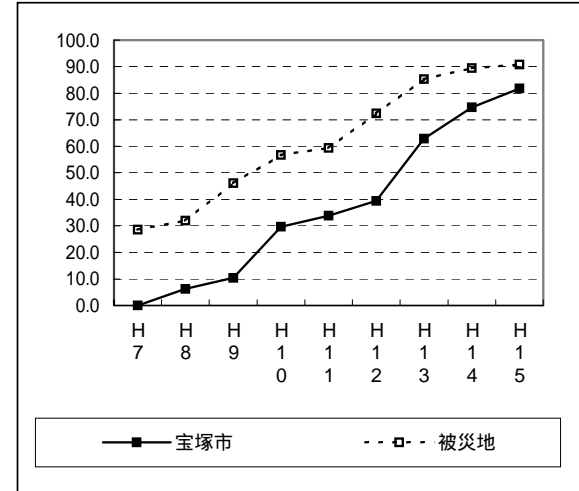
8. 製造品出荷額等・小売業商品販売額

製造品出荷額等は平成13年以降の減少が激しい。被災地平均をやや下回っている。



9. 自主防災組織の組織率

被災地平均をやや下回っている。



7. 川西市

【地域の概要】

面積・人口・世帯数

面積	53.44 (km ²)
人口	156,870 (人)
世帯数	57,942 (世帯)
死者	4人
全壊棟数	554棟
半壊棟数	2,728棟

位置

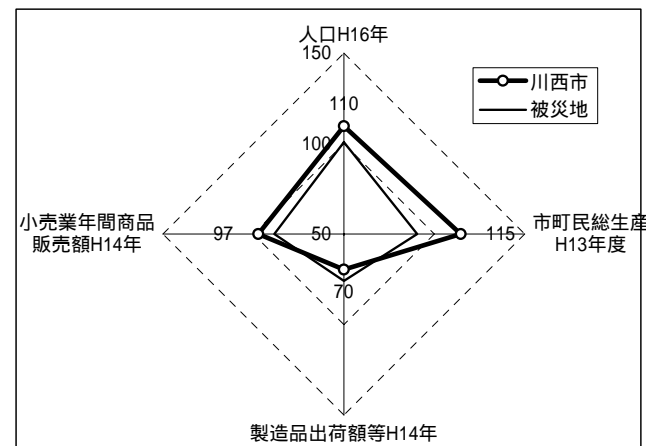


地域図

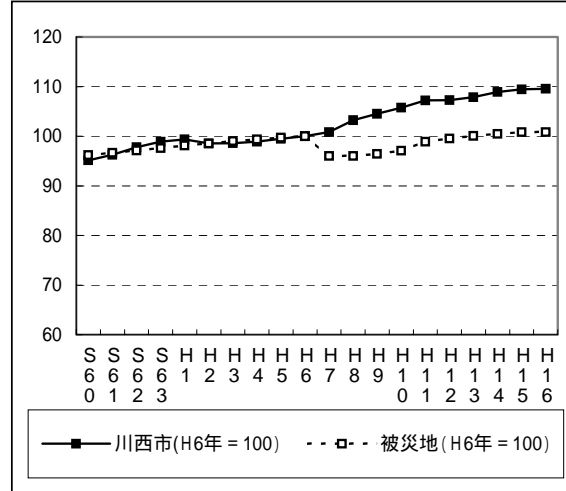


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第252号) なお、各地域により拡大・縮小の割合を変えているため、縮尺は正確ではありません。

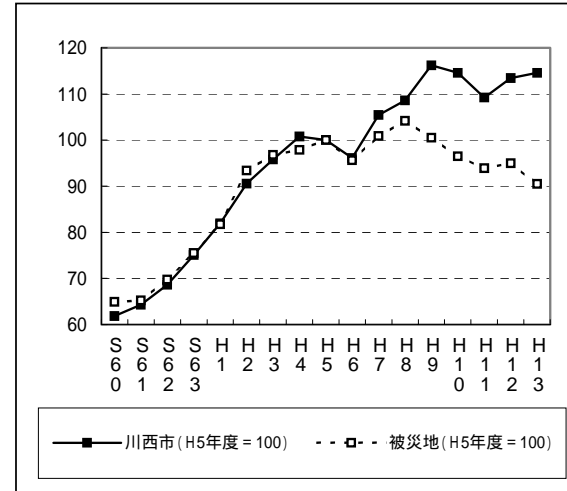
【被災地全体との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
製造業のみ、被災地平均を下回る。



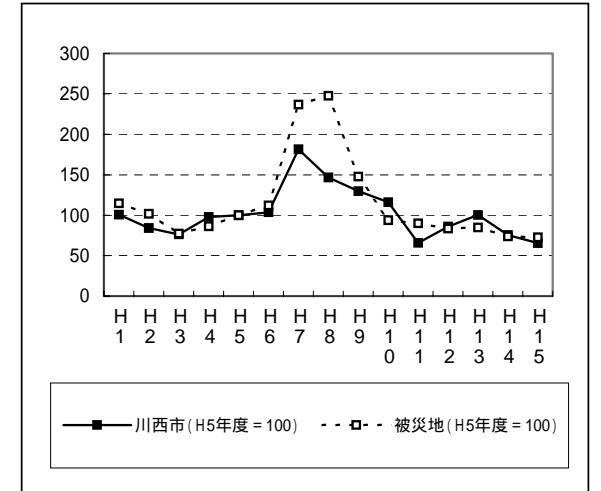
1. 人口
震災以前からの増加が続く。



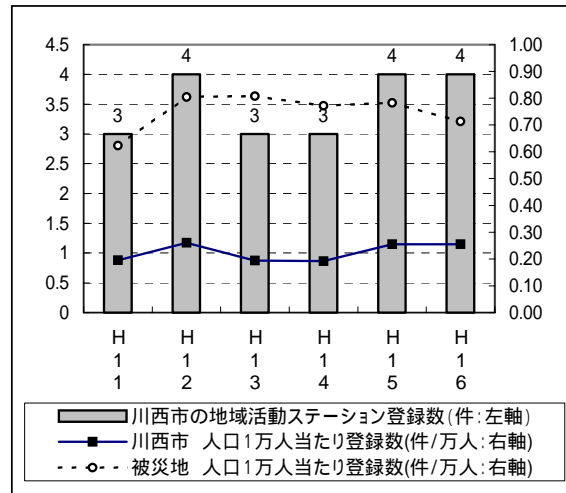
2. 市民総生産
人口とともに、順調に増加している。



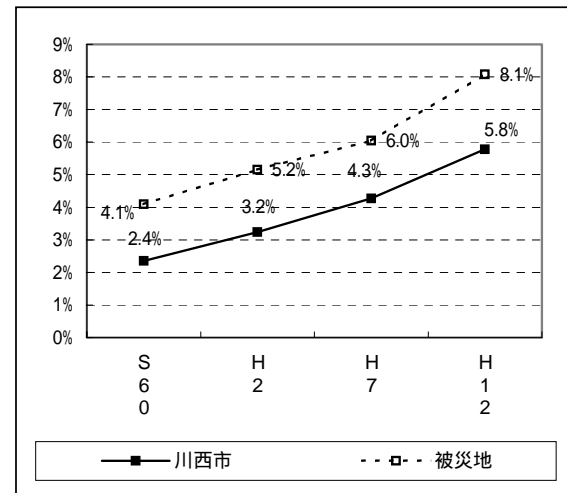
3. 新設住宅着工戸数
平成10年度まで、震災前水準を上回っている。



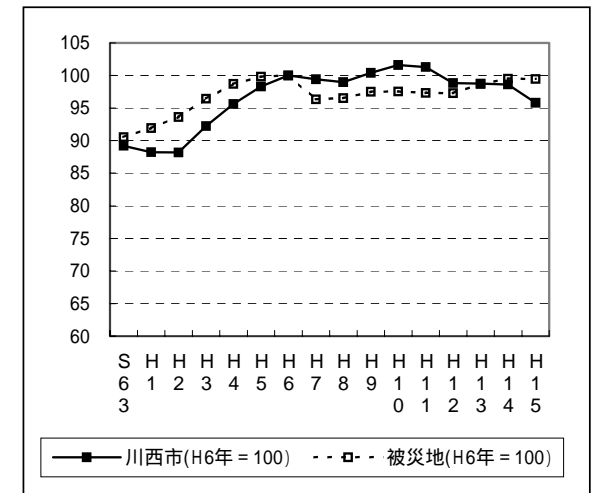
4. 地域活動ステーション
横ばいで推移しており、被災地平均を下回っている。被災地平均を下回っている。



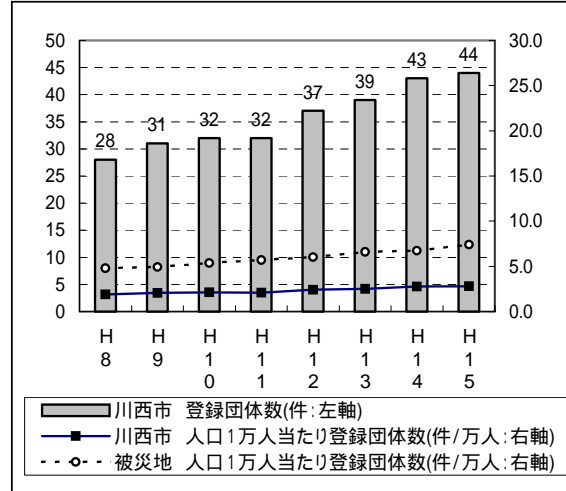
5. 単身高齢者世帯率
横ばいで推移しており、被災地平均を下回っている。被災地平均を下回っている。



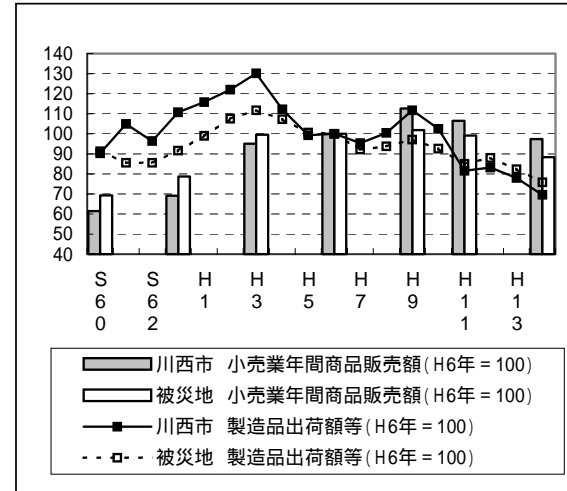
6. 外国人登録者数
震災の影響はあまりみられない。



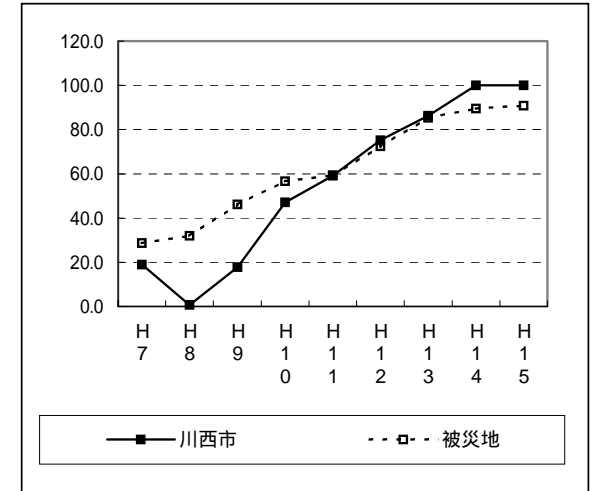
7. ボランティア登録団体数の推移
平成8年以降、順調に増加している。



8. 製造品出荷額等・小売業商品販売額
小売業は被災地平均を上回っている。



9. 自主防災組織の組織率
平成14年に100%を達成している。



8. 明石市

【地域の概要】

面積・人口・世帯数

面積	49.22 (km ²)
人口	291,876 (人)
世帯数	110,316 (世帯)
死者	10人
全壊棟数	2,941棟
半壊棟数	6,673棟

位置

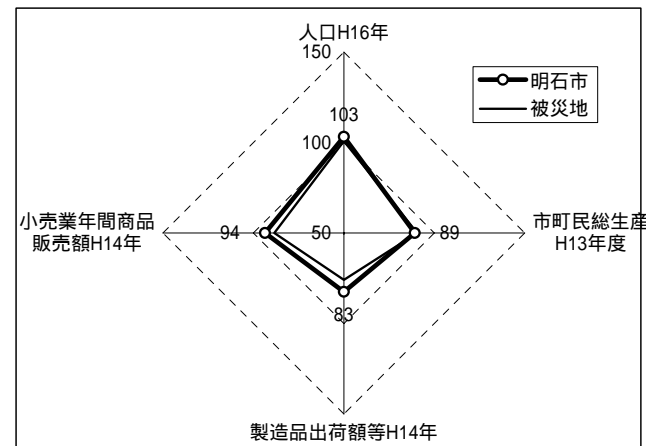


地域図



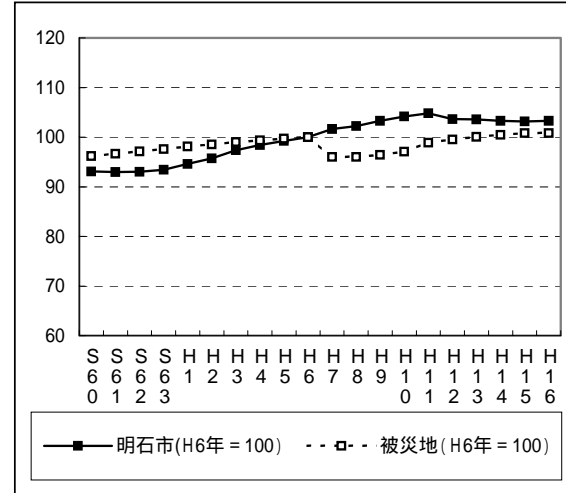
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第252号) なお、各地域により拡大・縮小の割合を変えているため、縮尺は正確ではありません。

【被災地全体との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
小売業、製造業、人口で、被災地平均を上回っている。



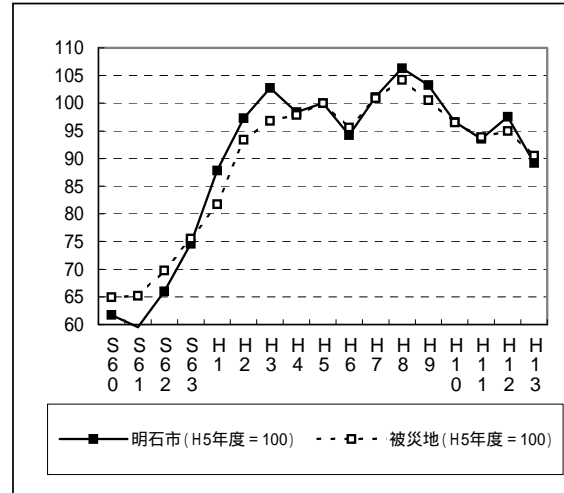
1. 人口

震災後も増加が続くが、平成11年以降は横ばい。



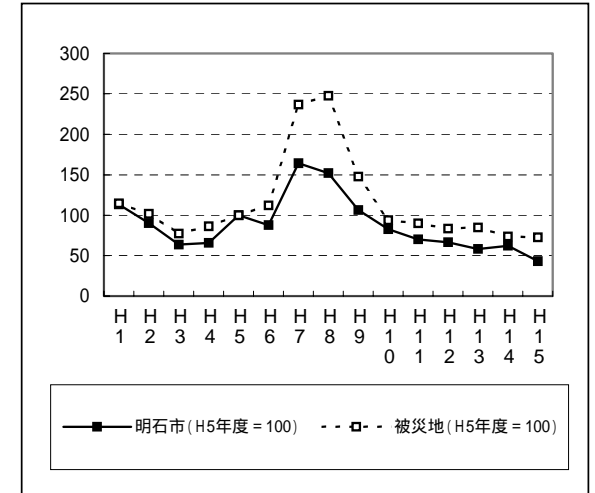
2. 市民総生産

ほぼ被災地平均と同水準で推移。



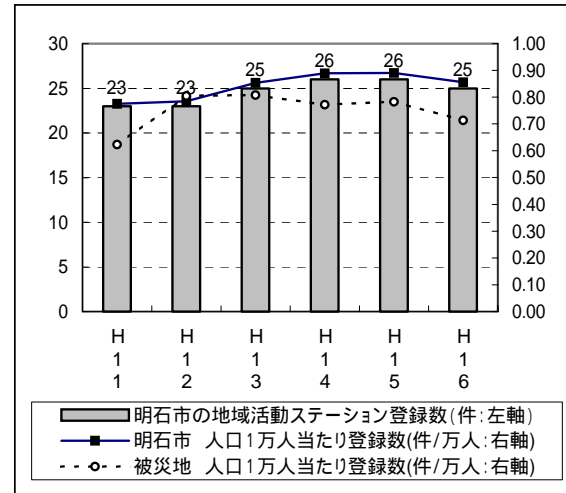
3. 新設住宅着工戸数

ピーク時でも、震災前の1.5倍の水準にとどまる。



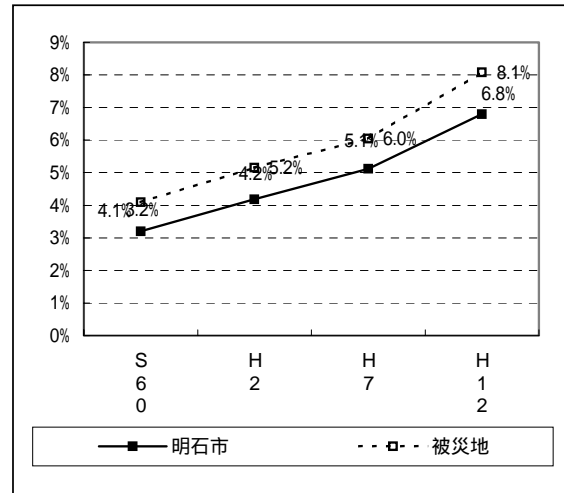
4. 地域活動ステーション

被災地平均を若干上回る水準で登録が進む。



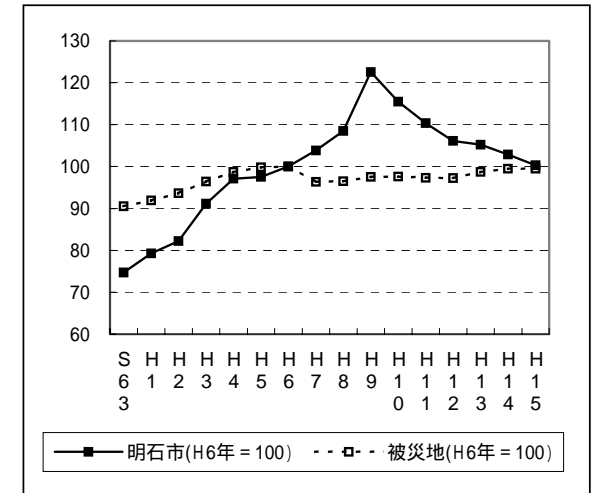
5. 単身高齢者世帯率

被災地平均を下回っている。



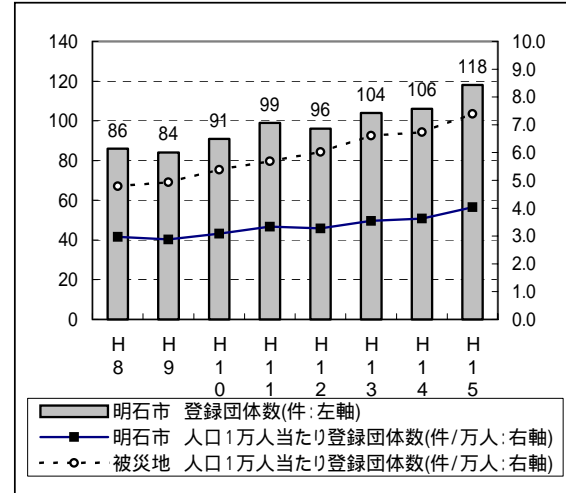
6. 外国人登録者数

平成9年をピークに、外国人が増加している。



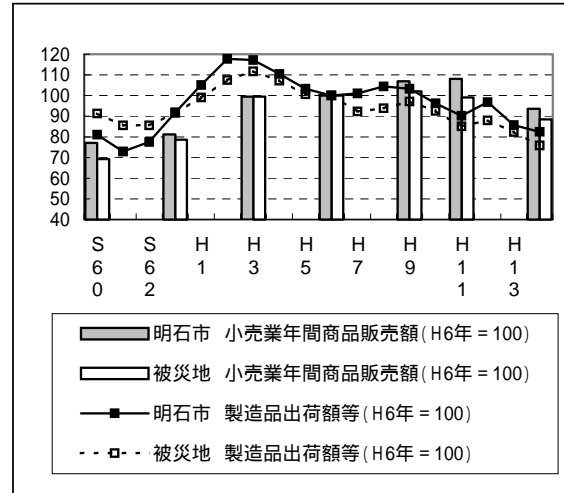
7. ボランティア登録団体数の推移

微増が続いている。



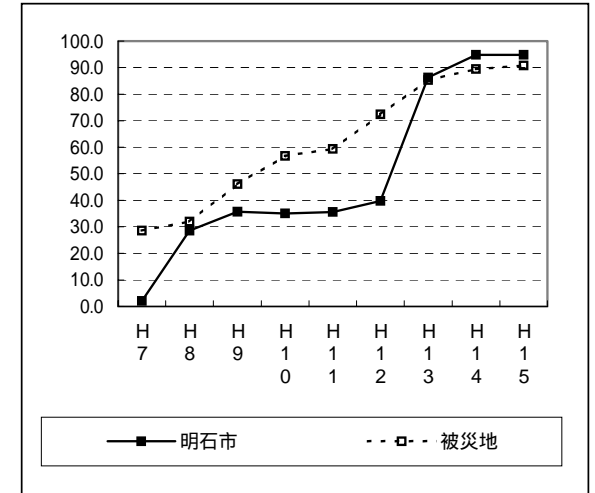
8. 製造品出荷額等・小売業商品販売額

小売業、製造業ともに、被災地平均を上回る。



9. 自主防災組織の組織率

平成14年に約95%まで達成。



9. 三木市

【地域の概要】

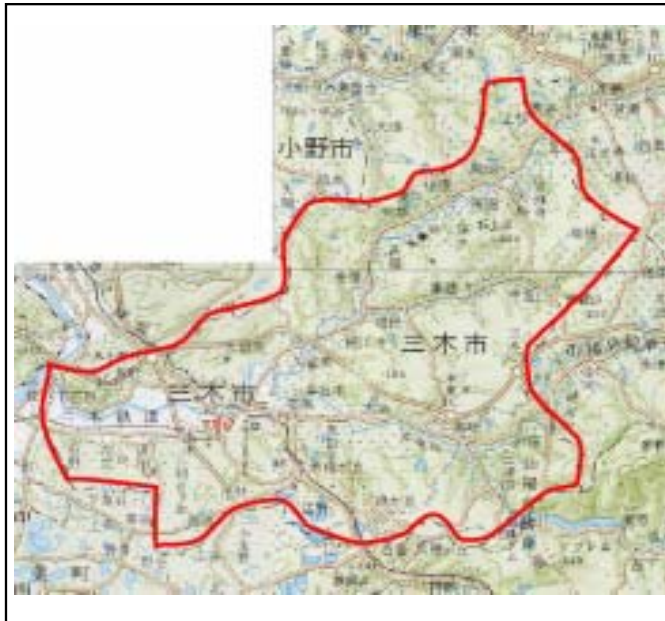
面積・人口・世帯数

面積	120.13 (km ²)
人口	75,350 (人)
世帯数	24,963 (世帯)
死者	1人
全壊棟数	24棟
半壊棟数	94棟

位置

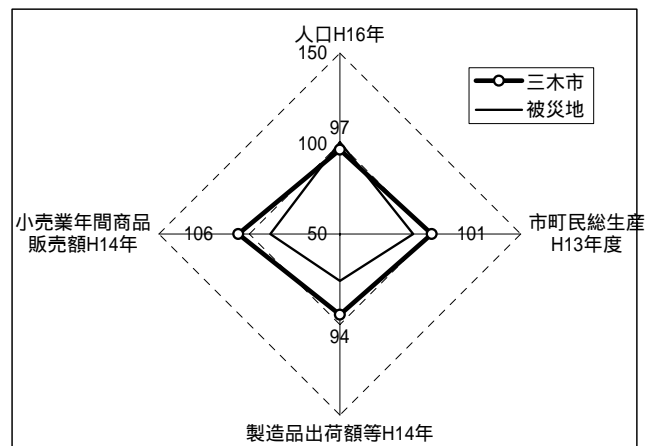


地域図



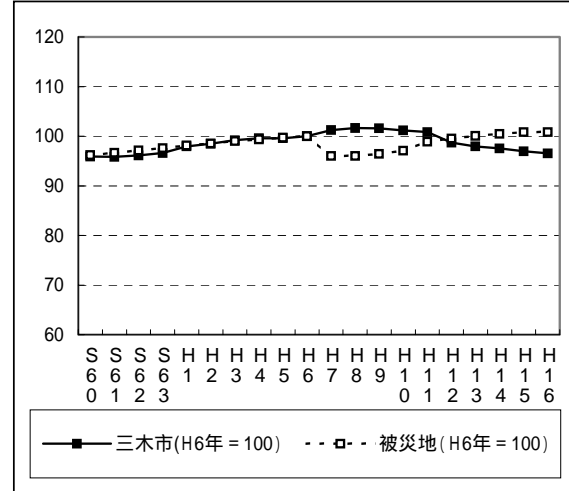
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第252号) なお、各地域により拡大・縮小の割合を変えているため、縮尺は正確ではありません。

【被災地全体との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
人口を除いた3分野で、被災地平均を大きく上回っている。



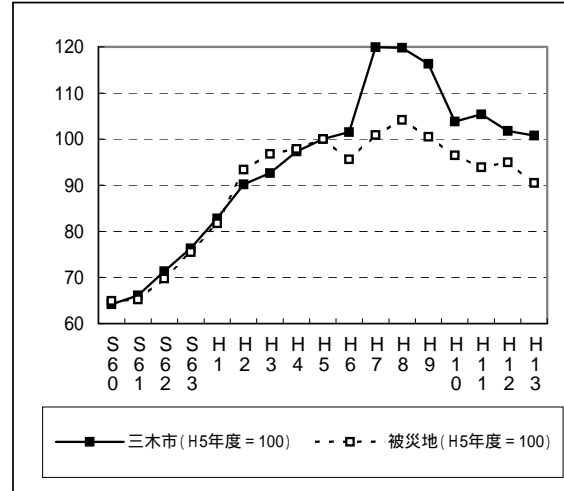
1. 人口

震災直後やや人口が増加したが、その後減少。



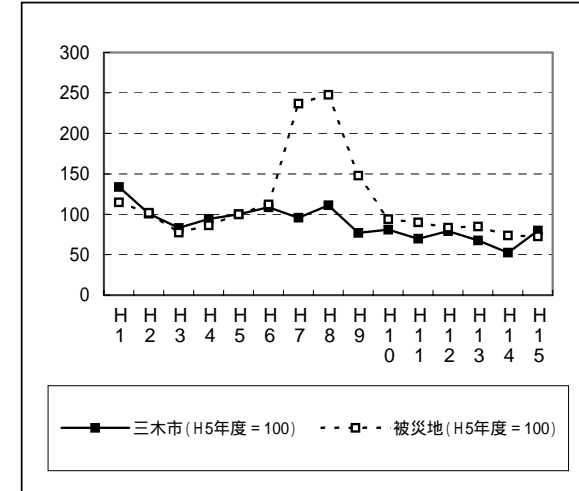
2. 市民総生産

震災直後の復興需要が大きく、その後も高い水準。



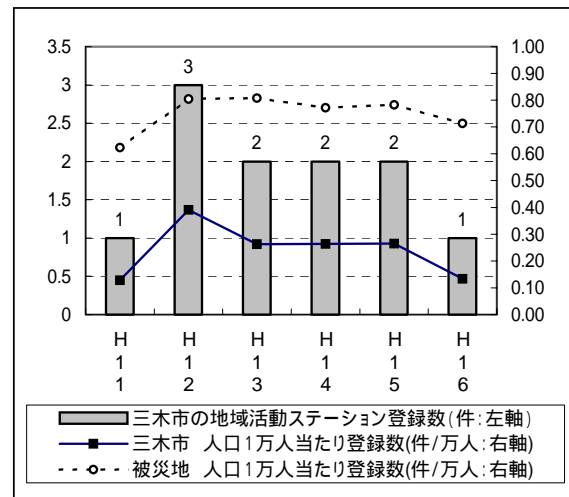
3. 新設住宅着工戸数

復興需要は、ほとんどみられない。



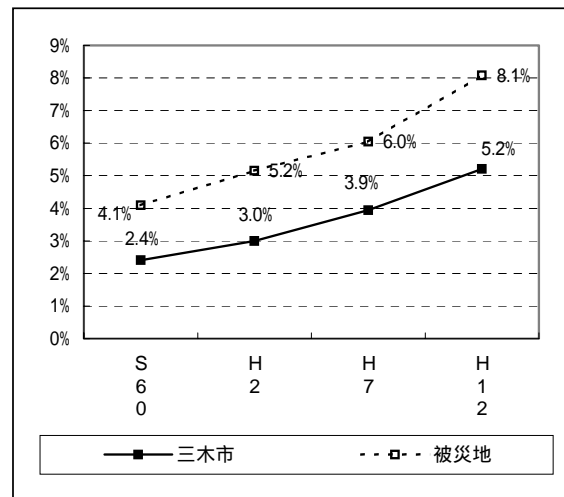
4. 地域活動ステーション

平成12年の3件をピークに減少。



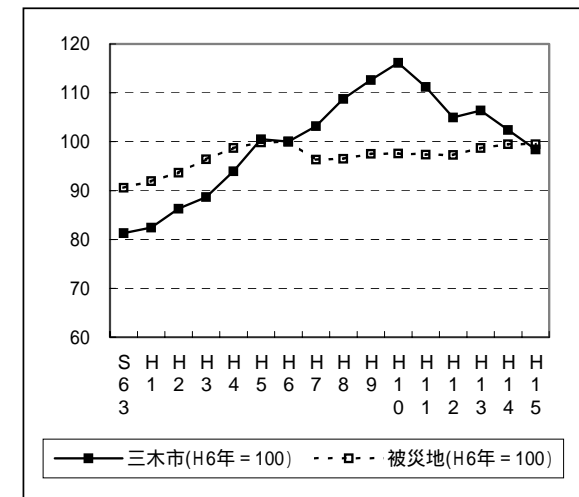
5. 単身高齢者世帯率

被災地平均を下回っている。



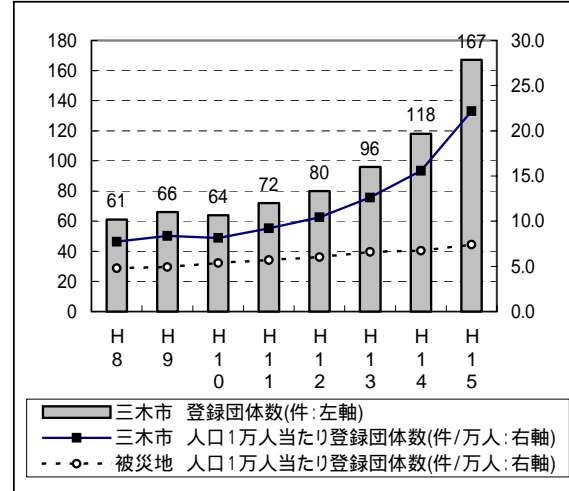
6. 外国人登録者数

平成10年をピークに減少に転じている。



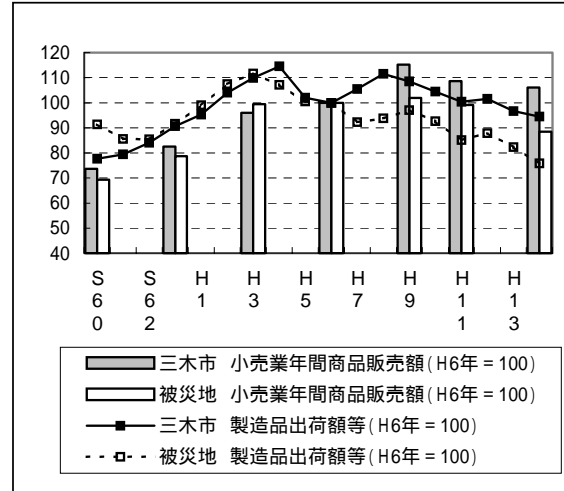
7. ボランティア登録団体数の推移

平成13年以降、登録団体数が急増している。



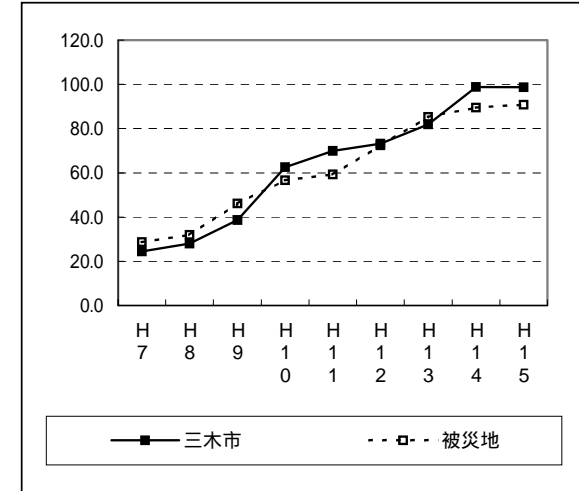
8. 製造品出荷額等・小売業商品販売額

小売業、製造業ともに、高い水準を維持している。



9. 自主防災組織の組織率

平成14年に、ほぼ100%に達している。



10. 洲本市

【地域の概要】

面積・人口・世帯数

面積	124.25 (km ²)
人口	40,117 (人)
世帯数	15,564 (世帯)
死者	4人
全壊棟数	17棟
半壊棟数	663棟

位置

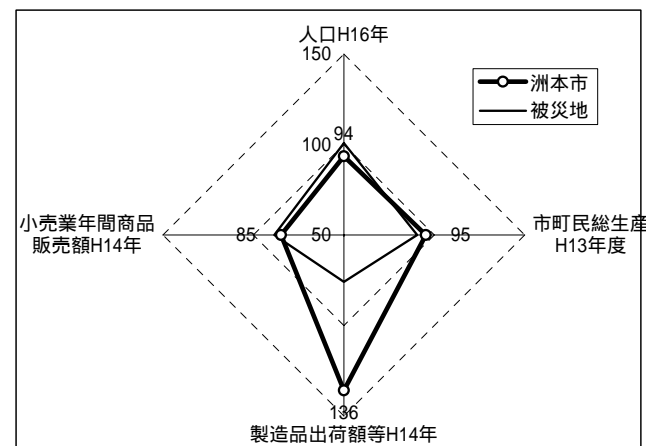


地域図



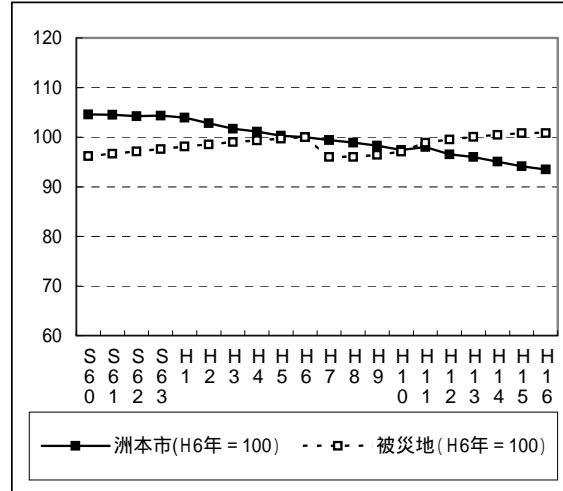
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第252号) なお、各地域により拡大・縮小の割合を変えているため、縮尺は正確ではありません。

【被災地全体との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
人口は減少しているが、製造業が成長している。



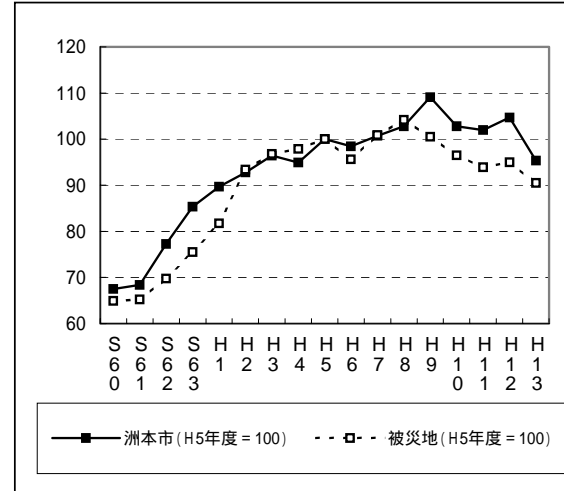
1. 人口

震災以前からの減少が続く。



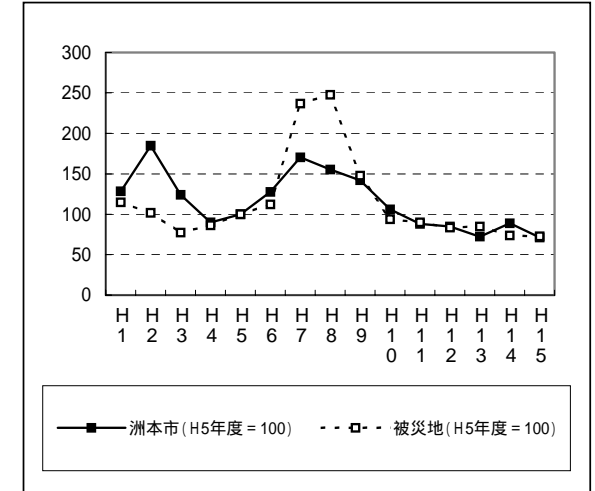
2. 市民総生産

震災後、被災地平均を上回っている。



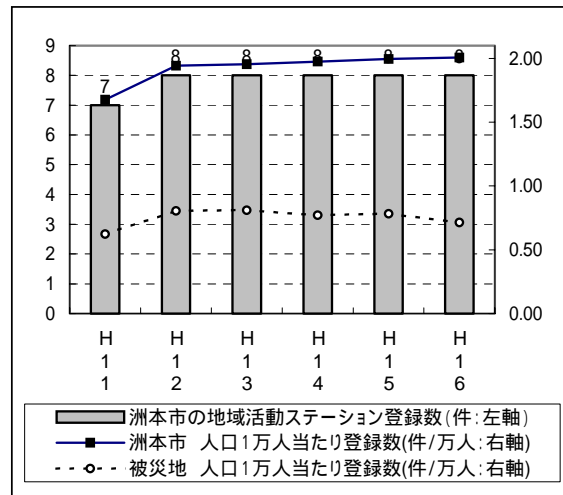
3. 新設住宅着工戸数

平成6～9年度にかけて着工戸数が増加している。



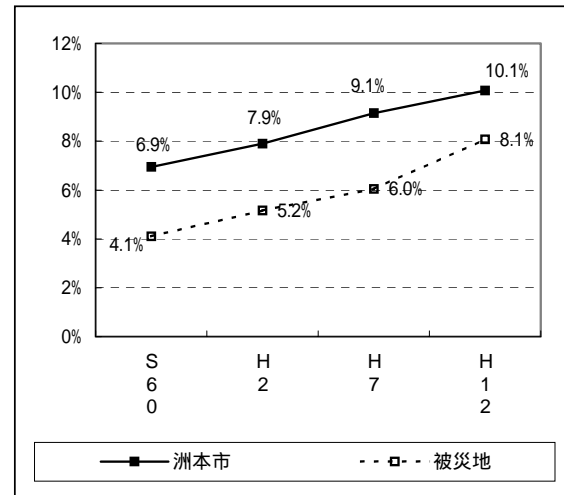
4. 地域活動ステーション

人口当たりでは、被災地平均を上回っている。



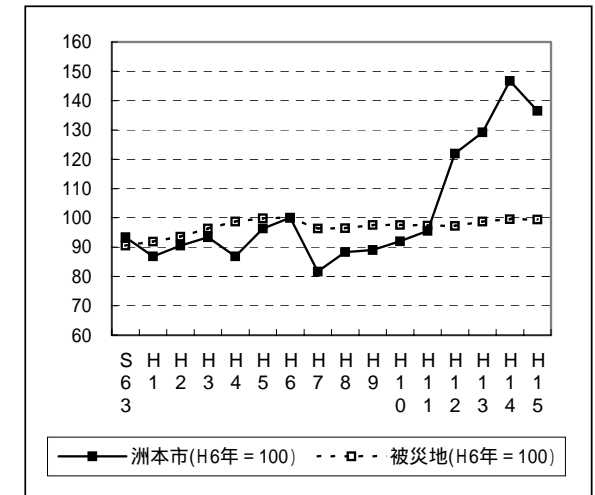
5. 単身高齢者世帯率

震災後、被災地平均との差が減少している。



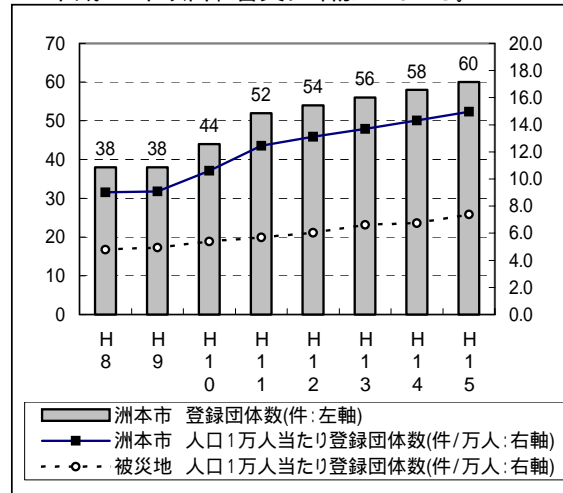
6. 外国人登録者数

平成12年以降、大幅に増加している。



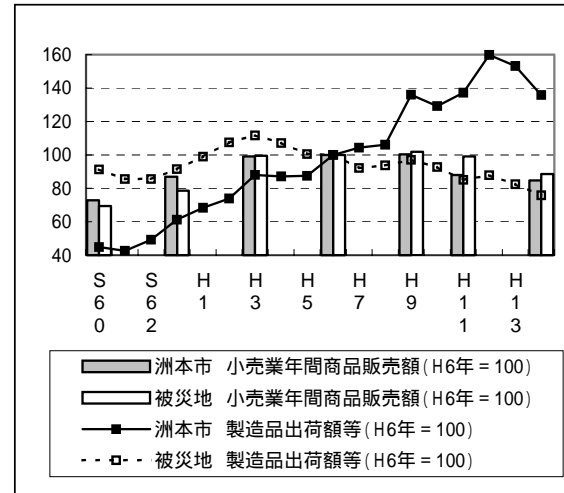
7. ボランティア登録団体数の推移

平成10年以降、着実に増加している。



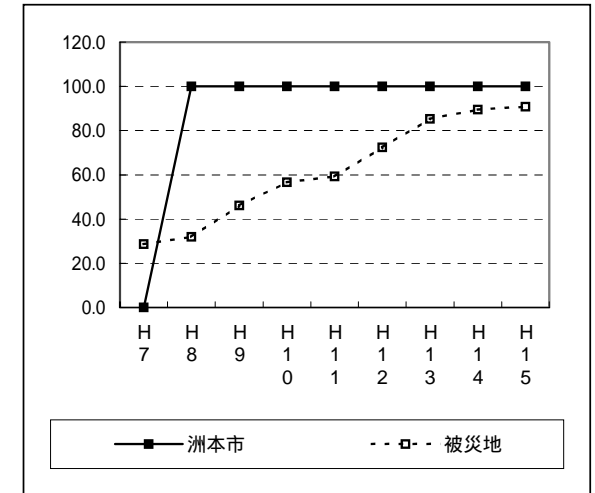
8. 製造品出荷額等・小売業商品販売額

製造品出荷額等の伸びが著しい。



9. 自主防災組織の組織率

平成8年に100%を達成。



11. 津名郡(津名町、淡路町、北淡町、一宮町、五色町、東浦町)

【地域の概要】

面積・人口・世帯数

面積	242.36 (km ²)
人口	61,741 (人)
世帯数	21,379 (世帯)
死者	58人
全壊棟数	3,262棟
半壊棟数	4,245棟

位置

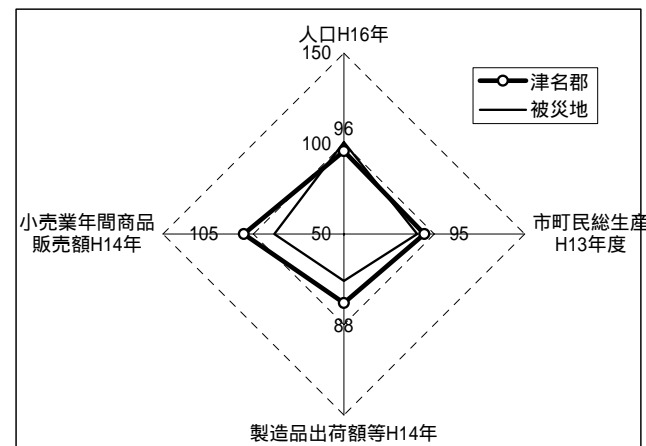


地域図 (津名町、淡路町、北淡町、一宮町、五色町、東浦町)



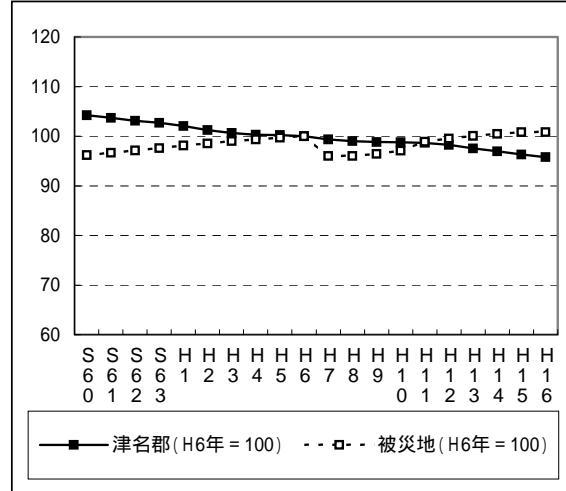
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第252号) なお、各地域により拡大・縮小の割合を変えているため、縮尺は正確ではありません。

【被災地全体との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
人口は減少しているが、小売業・製造業が伸びている。



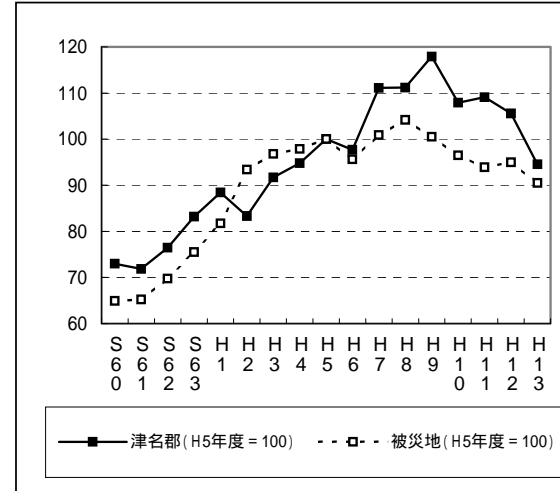
1. 人口

震災以前からの減少が続いている。



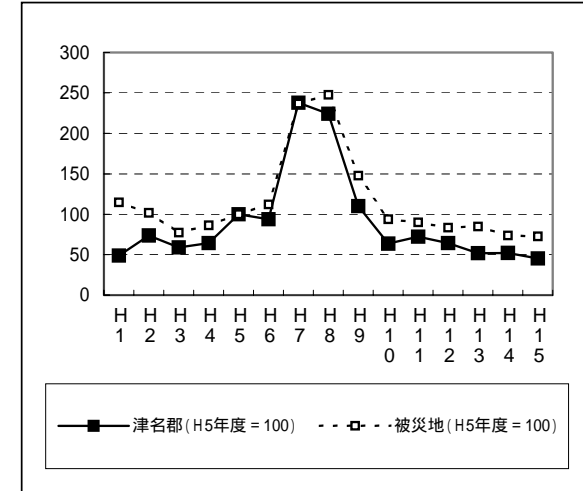
2. 町民総生産

復興需要と明石大橋開通の効果がみられる。



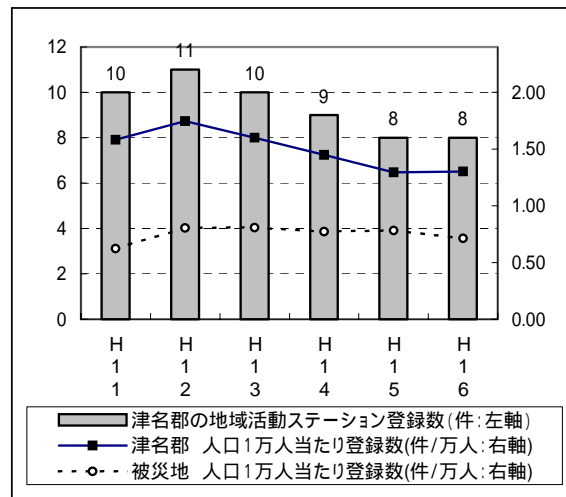
3. 新設住宅着工戸数

平成10年以降は、震災前を下回る水準である。



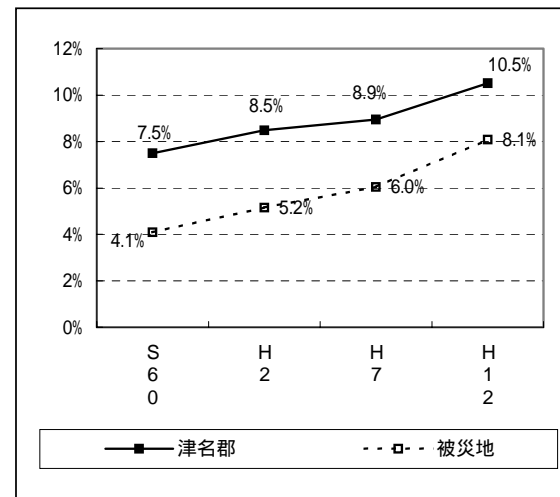
4. 地域活動ステーション

減少傾向にあるが、被災地平均を上回っている。



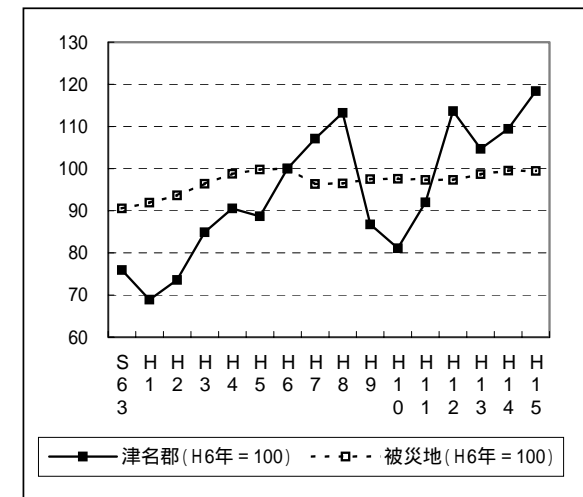
5. 単身高齢者世帯率

高齢者単身世帯が多く、H12では10%を超える。



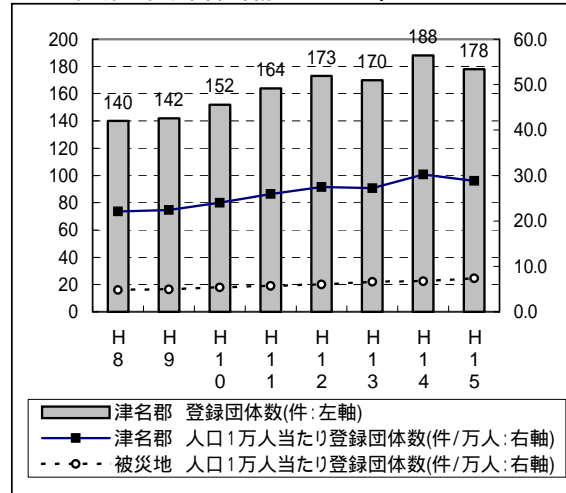
6. 外国人登録者数

平成10年に、一時的に大きく減少している。



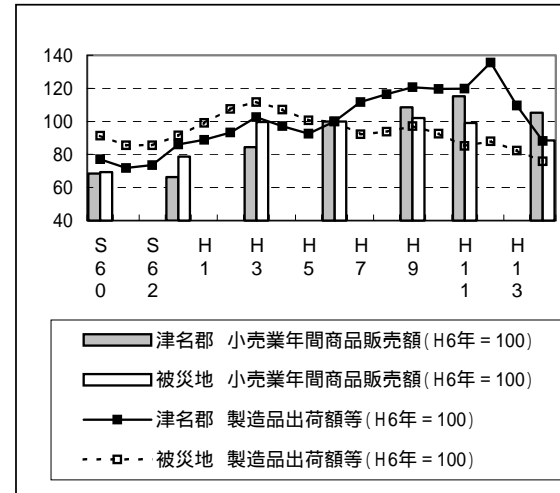
7. ボランティア登録団体数の推移

平成8年以降、増加している。



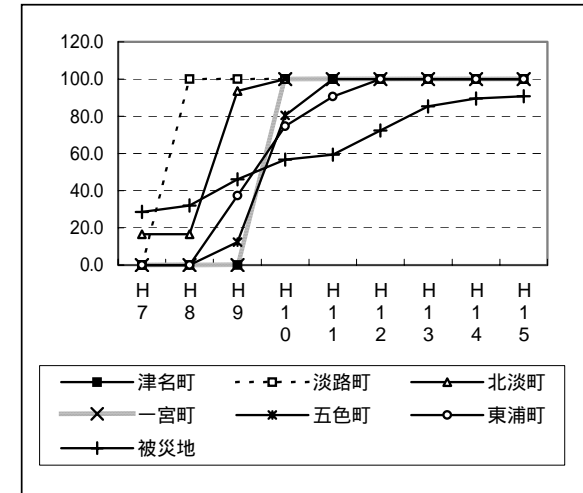
8. 製造品出荷額等・小売業商品販売額

小売業は伸びている。製造業はH12年以降減少。



9. 自主防災組織の組織率

平成12年には、全町で100%を達成している。



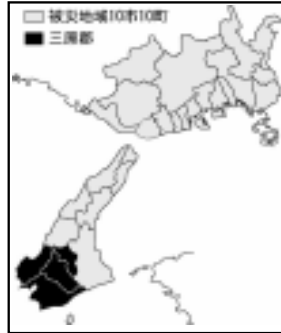
12. 三原郡(緑町、西淡町、三原町、南淡町)

【地域の概要】

面積・人口・世帯数

面積	229.17 (km ²)
人口	53,638 (人)
世帯数	17,479 (世帯)
死者	0人
全壊棟数	181棟
半壊棟数	415棟

位置

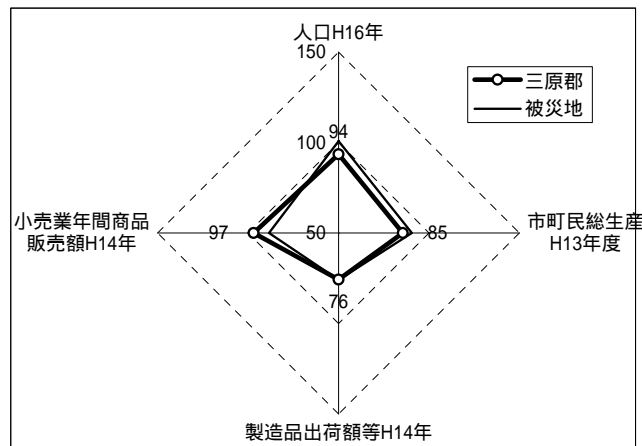


地域図(緑町、西淡町、三原町、南淡町)



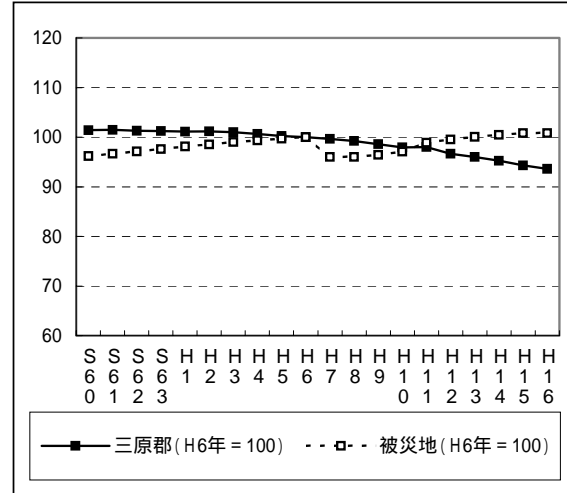
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平16総複、第252号) なお、各地域により拡大・縮小の割合を変えているため、縮尺は正確ではありません。

【被災地全体との人口・産業の比較(震災直前値を100とする)】
小売業は被災地平均を上回っている。



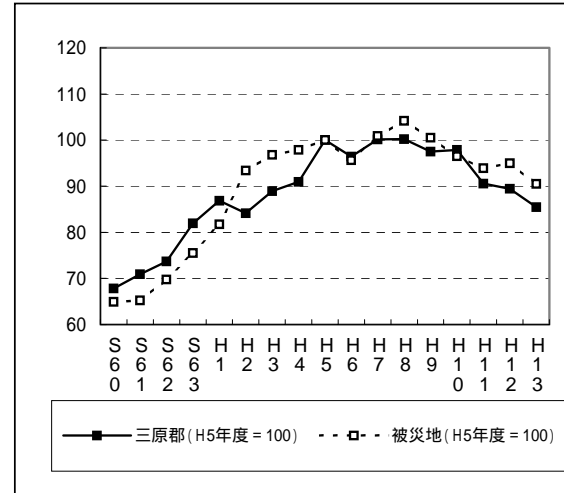
1. 人口

震災以前からの減少が激しくなっている。



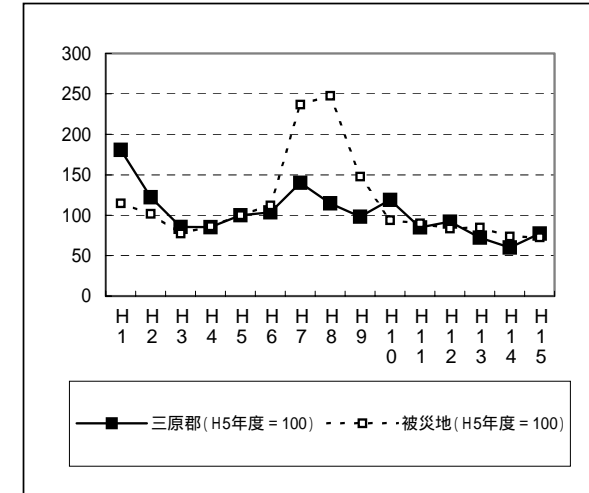
2. 町民総生産

震災以降、減少している。



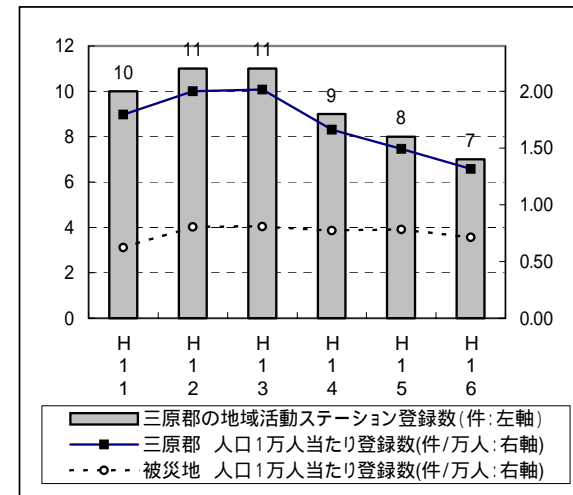
3. 新設住宅着工戸数

復興需要は、限定された規模にとどまっている。

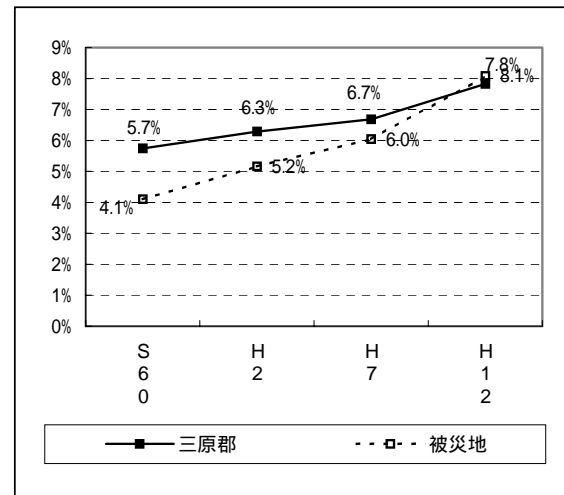


4. 地域活動ステーション

近年減少傾向にあるが、被災地平均は上回っている。高齢者単身世帯の伸びが少なく、H12年には逆転。

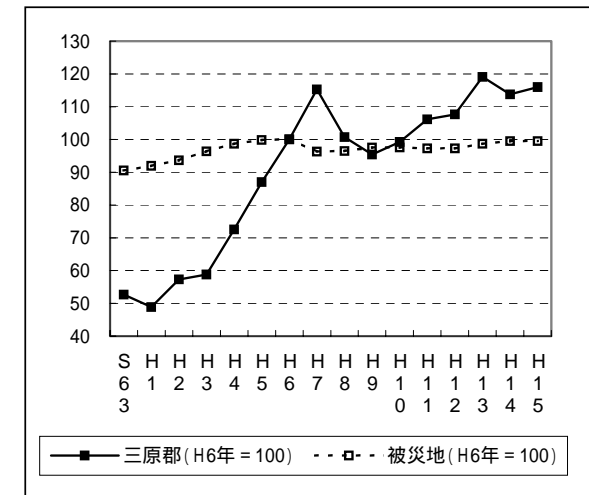


5. 単身高齢者世帯率



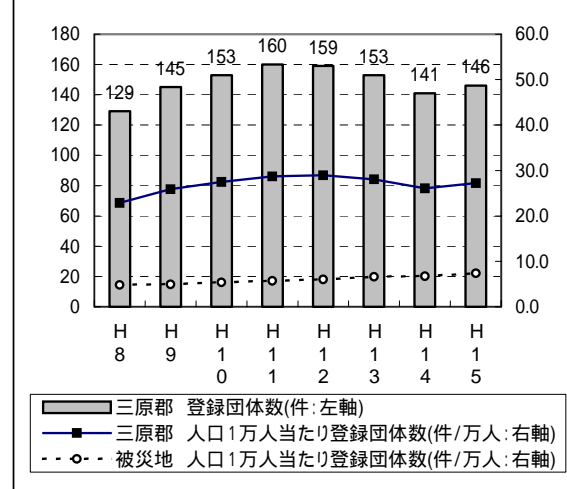
6. 外国人登録者数

平成9年を底に、回復している。



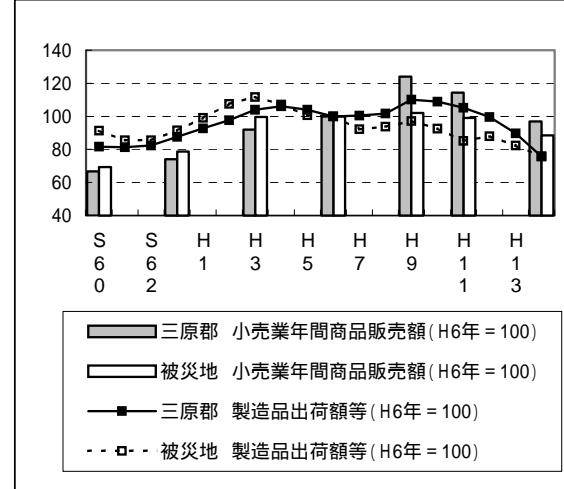
7. ボランティア登録団体数の推移

150団体前後で横ばいである。



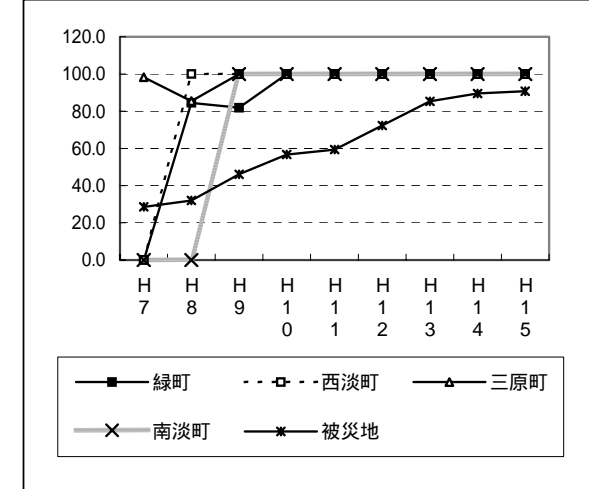
8. 製造品出荷額等・小売業商品販売額

ともに、被災地平均を上回っている。

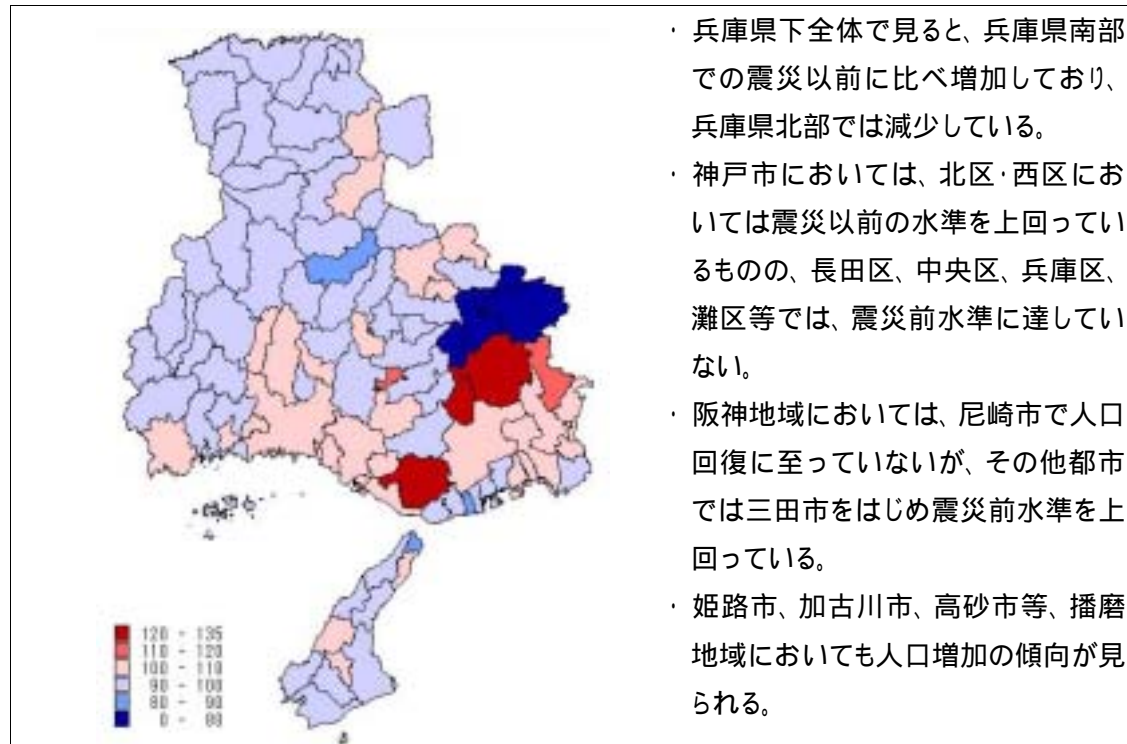


9. 自主防災組織の組織率

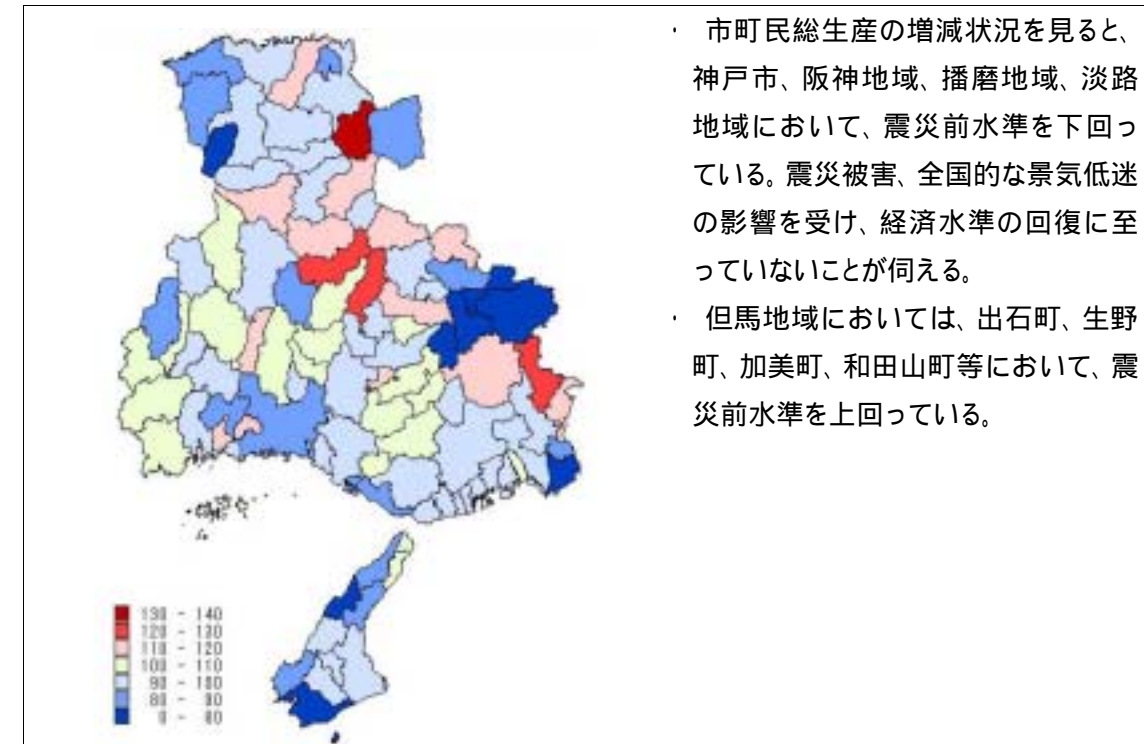
平成10年には、全町で100%を達成している。



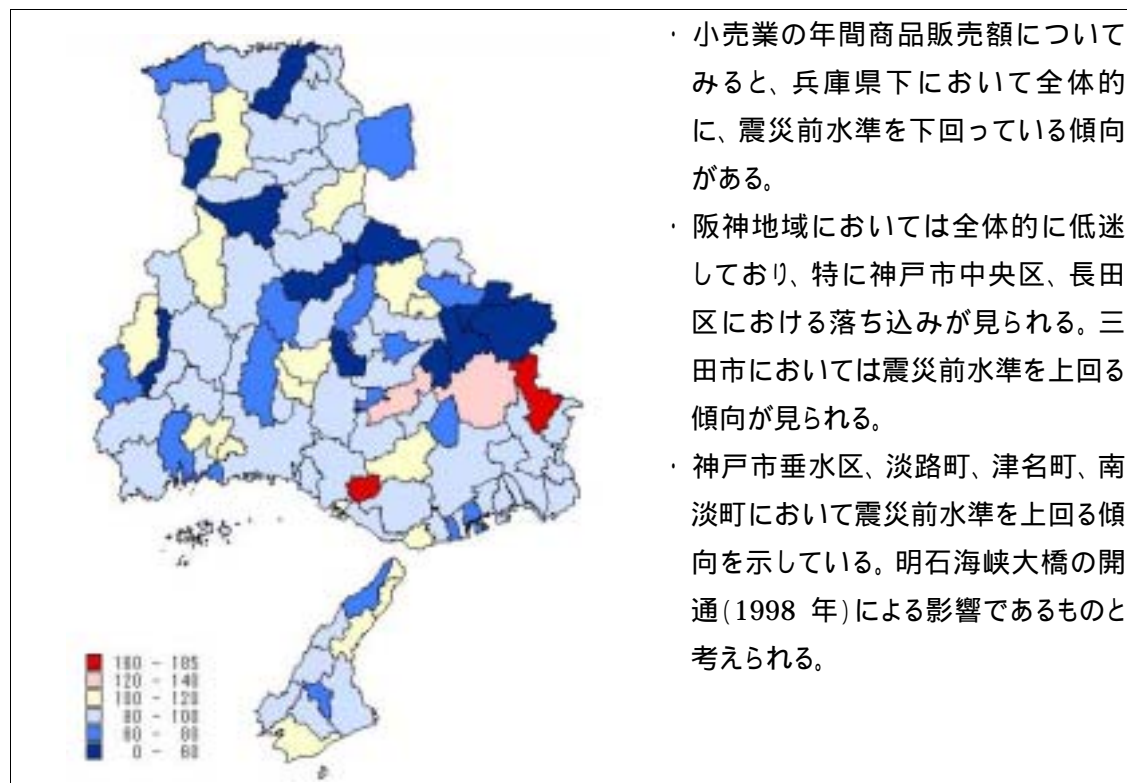
【人口増減の市区町別比較(震災直前を100とした場合)】



【市町民総生産増減の市町別比較(震災直前を100とした場合)】



【小売業年間商品販売額増減の市区町別比較(震災直前を100とした場合)】



【製造品出荷額増減の市区町別比較(震災直前を100とした場合)】

